

基礎ロシア語コース

例 文 編

教科書刊行会

この例文編は、『基礎ロシア語コース 文法編』の文法説明と理解を助けることを主な目的として考案され、編集されている。实例を読み、構文を分析し、内容を吟味していくことによって、各課のテーマとしている項目の理解が深まれば幸いである。

この教科書に限られたこうした使い方以外にも、実際にはきわめて多目的、多方面にわたる用途が可能と思われる。たとえば、例文をくり返し読むこと。暗記するくらいに読み込むのもよかろう。語学学習のうちで、手本となる短文や表現の暗記が語学習得や言語運用のうえからどれほど役にたつかについては、広く一般が認めるところである。

基本文型や典型例の習得という文法面の学習と併せて、その他に、語いの習得と拡充という、もう一方の語学力を増進させる目的にも適うところが多い。初年度のロシア語学習では語尾変化に注意が偏りがちであるが、理想的な語学力とは「読む・聞く・話す・書く」の4つの領域が程よく発達しているものと考えられている。どの領域にも共通し、かつ実践においても有効な語学力として語いの習得にも努力を注いでいただきたい。

ささやかな願いと限られた分量の例文ではあるが、学習の一助になることを願っている。

1999年3月

編著者

第2課 簡単な文		
§006	簡単な平叙文	6
§007	疑問文と否定文	6
§008	疑問詞を用いた疑問文	8
§009	人称代名詞	8
§010	接続詞 и と а	10
§011	数詞(1) 1~10	10
第3課 名詞の性・数・格		
§012	名詞の性	10
§013	名詞の数	12
§014	名詞と3人称代名詞の関係	12
§015	名詞の格	-
第4課 所有代名詞・指示代名詞・形容詞		
§016	所有代名詞 мой, наш (主格)	12
§017	疑問代名詞 чей? (主格)	14
§018	指示代名詞 этот (主格)	14
§019	形容詞(主格)	16
§020	形容詞の用法	16
§021	疑問詞 какой?	16
第5課 動詞の第1変化と名詞の前置格(単数)		
§022	動詞の不定形	-
§023	動詞の現在形(第1変化)	18
§024	名詞の前置格(単数)	18
§025	前置詞 о, в, на と前置格	20
§026	人称代名詞および кто, что の前置格	20
§027	特殊な変化をする動詞(1)	22
第6課 動詞の第2変化と名詞の対格(単数)		
§028	動詞の現在形(第2変化)	22
§029	名詞の対格(単数)	22
§030	人称代名詞および кто, что の対格	24
§031	数詞(2) 11~19	-
第7課 定動詞と不定動詞		
§032	特殊な変化をする動詞(2) идти, ехать	24

§033	前置詞 в, на と対格・前置格	24
§034	定動詞と不定動詞	26
§035	数詞 (3) 20~30	-
第 8 課	動詞の過去と未来	
§036	動詞の過去	26
§037	動詞 быть の用法	28
§038	動詞の未来形	28
§039	特殊な変化をする動詞 (3) мочь, хотеть	28
§040	簡単な複文	30
§041	数詞 (4) 20, 30, 40...100	-
第 9 課	名詞の生格	
§042	名詞の生格 (単数)	30
§043	人称代名詞および кто, что の生格	32
§044	所有の表現	32
§045	存在や所有の否定表現	32
§046	男性名詞活動体の対格 (単数)	34
§047	生格支配の前置詞	34
第 10 課	名詞の与格 (単数)	
§048	名詞の与格 (単数)	34
§049	人称代名詞および кто, что の与格	36
§050	前置詞 к, по と与格	36
§051	無人称文	38
§052	特殊な変化をする動詞 (4) рисовать	38
§053	数詞 (5) 100, 200, 300,...1000	38
第 11 課	名詞の造格 (単数)	
§054	名詞の造格 (単数)	40
§055	人称代名詞および кто, что の造格	40
§056	造格支配の前置詞	40
§057	ся 動詞	42
§058	再帰人称代名詞 себя	42

第 12 課	完了体と不完了体・形容詞短語尾	
§059	完了体と不完了体	44
§060	体と接頭辞	44
§061	不定人称文	46
§062	形容詞短語尾	46
§063	形容詞短語尾の用法	46
第 13 課	動詞の命令形・形容詞の対格 (単数)	
§064	動詞の命令形	48
§065	形容詞の対格 (単数)	48
§066	所有代名詞の対格 (単数)	50
§067	指示代名詞の対格 (単数)	50
第 14 課	形容詞の比較級 (1) ・前置格 (単数)	
§068	形容詞の比較級 (1)	50
§069	形容詞の前置格 (単数)	52
§070	所有代名詞の前置格 (単数)	52
§071	指示代名詞の前置格 (単数)	54
第 15 課	形容詞の比較級 (2) ・生格 (単数)	
§072	形容詞の比較級 (2)	54
§073	形容詞の生格 (単数)	54
§074	所有代名詞の生格 (単数)	56
§075	指示代名詞の生格 (単数)	56
第 16 課	形容詞の最上級 (1) ・与格 (単数)	
§076	形容詞の最上級 (1)	58
§077	形容詞の与格 (単数)	58
§078	所有代名詞の与格 (単数)	58
§079	指示代名詞の与格 (単数)	60
第 17 課	形容詞の最上級 (2) ・造格 (単数)	
§080	形容詞の最上級 (2)	60
§081	形容詞の造格 (単数)	62
§082	所有代名詞の造格 (単数)	62
§083	再帰所有代名詞 свой	62
§084	指示代名詞の造格 (単数)	64
§085	定代名詞 весь, сам	64

第 18 課	名詞の複数形 (1) ・数詞の用法	
§086	名詞の主格・生格・対格 (複数)	66
§087	複数生格の例外	66
§088	数詞と名詞の結合	66
第 19 課	形容詞の複数形 (1) ・数量生格	
§089	形容詞の主格・生格・対格 (複数)	68
§090	所有代名詞の主格・生格・対格 (複数)	68
§091	指示代名詞の主格・生格・対格 (複数)	70
§092	数量生格	70
第 20 課	数詞を使った表現 (1) ・名詞の複数形 (2)	
§093	数詞を使った表現 (1)	70
§094	数詞の変化	72
§095	名詞の与格・造格・前置格 (複数)	72
第 21 課	形容詞の複数形 (2) ・順序数詞	
§096	形容詞の与格・造格・前置格 (複数)	74
§097	所有代名詞の与格・造格・前置格 (複数)	74
§098	指示代名詞の与格・造格・前置格 (複数)	74
§099	順序数詞	76
§100	数詞を使った表現 (2)	76
第 22 課	不定副詞・不定代名詞・否定副詞・否定代名詞	
§101	不定副詞	78
§102	不定代名詞	78
§103	否定副詞	80
§104	否定代名詞	80
第 23 課	関係代名詞・関係副詞・仮定法・普遍人称文	
§105	関係代名詞 который	80
§106	関係代名詞 кто と что	82
§107	関係代名詞 какой	84
§108	関係代名詞 чей	84
§109	関係副詞	84
§110	仮定法	84
§111	普遍人称文	86
第 24 課	副動詞・形動詞・受け身の構文	
§112	副動詞	86
§113	形動詞	88
§114	受け身の構文	88

006	簡単な平叙文
1	Это МГУ.
2	Это журнал.
3	Это газета.
4	Это письмо.
5	Это друг.
6	Это подруга Оля.
7	Я ябец.
8	Я ябецка.
9	Алёша – студент.
10	Катя – студентка.
007	疑問文と否定文
11	Алёша – студент? Да, он студент.
12	Миша – русский? Да, он русский.
13	Вы Владимир Николаевич Иванов? Да, я Владимир Николаевич Иванов.
14	Алло, Маша, это ты? Да, это я.
15	Вы иностранец? Да, я француз.
16	Галья – актриса? Нет, она не актриса.
17	Мэри – русская? Нет, она не русская.
18	Переход далеко? Нет, рядом.

006 簡単な平叙文

- 1 これはモスクワ大学です。
- 2 これは雑誌です。
- 3 これは新聞です。
- 4 これは手紙です。
- 5 これは友人男性です。
- 6 これは女友達のオーリャです。
- 7 私は日本人男性です。
- 8 私は日本人女性です。
- 9 アリョーシャは男子学生です。
- 10 カーチャは女子学生です。

007 疑問文と否定文

- 11 アリョーシャは男子学生ですか。
はい、彼は学生です。
- 12 ミーシャはロシア人男性ですか。
はい、彼はロシア人です。
- 13 あなたはウラジーミル・ニコライヴィチ・イヴァノフですか。
はい、私はウラジーミル・ニコライヴィチ・イヴァノフです。
- 14 もしもし、マーシャ、君ですか。
はい、私です。
- 15 あなたは外国人男性ですか。
はい、私はフランス人男性です。
- 16 ガーリャは女優ですか。
いいえ、彼女は女優ではありません。
- 17 メリーはロシア人女性ですか。
いいえ、彼女はロシア人ではありません。
- 18 横断歩道は遠くですか。
いいえ、すぐそこです。

19 Вы тоже инженер?

Нет, я студентка.

20 Это Серёжа?

Нет, это Максим.

008 疑問詞を用いた疑問文

21 Что это?

Это книга.

22 Что это?

Это тетрадь.

23 Что это?

Это стол.

24 Что это такое?

Это театр.

25 Кто это?

Это преподаватель.

26 Кто это?

Это бабушка.

27 Кто это?

Папа.

28 А это?

Мама.

29 Где дом?

Дом здесь.

30 Где Анна Петровна?

Анна Петровна там.

009 人称代名詞

31 Я студент.

32 Я не Иван Иванович.

33 Ты друг.

34 Ты мальчик.

- 19 あなたもまた技術者ですか。
いいえ、私は女子学生です。
- 20 これはセリョージャですか。
いいえ、それはマキシムです。

008 疑問詞を用いた疑問文

- 21 これは何ですか。
これは本です。
- 22 これは何ですか。
これはノートです。
- 23 これは何ですか。
これは机です。
- 24 これはいったい何ですか。
これは劇場です。
- 25 これは誰ですか。
これは男性教師です。
- 26 これは誰ですか。
これはおばあさんです。
- 27 これは誰ですか。
パパです。
- 28 ではこれは。
ママです。
- 29 家はどこですか。
家はここです。
- 30 アンナ・ペトロヴナはどこですか。
アンナ・ペトロヴナはあそこです。

009 人称代名詞

- 31 私は男子学生です。
- 32 私はイヴァン・イヴァノヴィチではありません。
- 33 君は男友だちだ。
- 34 君は少年だ。

- 35 Он муж.
- 36 Она́ женá.
- 37 Оно́ не здесь.
- 38 Мы тури́сты.
- 39 Вы студéнты.
- 40 Онí родíteли.

010 接続詞 и と а

- 41 Онí брат и сестра́.
- 42 Серёжа и Ма́ша – муж и женá.
- 43 Ма́ть и дочь похо́жи.
- 44 Ива́н Ива́нович – профе́ссор и писа́тель.
- 45 Он врач, и она́ то́же.
- 46 Э́то слова́рь, а э́то тетра́дь.
- 47 Э́то ру́чка, а э́то каранда́ш.
- 48 Он врач, а она́ нет.
- 49 Э́то не Лю́ба, а Ле́на.
- 50 Там соба́ка, а не ко́шка.

011 数詞 (1) 1 ~ 10

- 51 Э́то уро́к но́мер 1.
- 52 Э́то сто́ловая но́мер 2.
- 53 Москва́, у́лица Вави́лова, дом 6.
- 54 Где кварта́ира но́мер 3?

012 名詞の性

- 55 Михаи́л. Он ма́льчик.
- 56 Музе́й. Он там.
- 57 Кре́мль. Он там.
- 58 О́ля. Она́ подру́га.
- 59 Де́вочка. Она́ до́ма.
- 60 Кварта́ира. Вот она́.

- 35 彼は夫だ。
- 36 彼女は妻だ。
- 37 それはここにはない。
- 38 私たちは旅行者です。
- 39 あなた方は学生です。
- 40 彼らは両親です。

010 接続詞 и と а

- 41 彼らは兄(弟)と妹(姉)です。
- 42 セリョージャとマーシャは夫と妻です。
- 43 母親と娘は似ている。
- 44 イヴァン・イヴァノヴィチは教授で作家です。
- 45 彼は医者で、彼女もそうです。
- 46 これは辞書ですが、これはノートです。
- 47 これはペンですが、これは鉛筆です。
- 48 彼は医者ですが、彼女はそうではありません。
- 49 これはリューバではなく、レーナです。
- 50 あそこにいるのは犬であって、猫ではありません。

011 数詞(1) 1 ~ 10

- 51 これは第1課です。
- 52 これは第2食堂です。
- 53 モスクワ、ヴァヴィーロヴァ通り、6番地。
- 54 3号室はどこですか。

012 名詞の性

- 55 ミハイル。彼は少年です。
- 56 博物館。それはあそこです。
- 57 クレムリン。それはあそこです。
- 58 オーリャ。彼女は女友だちです。
- 59 少女。彼女は家にいます。
- 60 マンション。ほらここにあります。

- 61 Площадь. Где она́?
- 62 Во́лга. Она́ река́.
- 63 Письмо́. Где оно́?
- 64 Ме́сто. Оно́ здесь.
- 65 О́зеро. Оно́ как мо́ре.

013 名詞の数

- 66 Столы́ есть?
- 67 Прекра́сно! Везде́ музе́и.
- 68 Здесь то́лько словарí!
- 69 «Извёстия» и «Труд» – ёто газёты.
- 70 У́лицы и пло́щади – жива́я ле́топись.
- 71 Пе́сни ра́зные.
- 72 Места́ есть?
- 73 Ива́н, А́нна, Мари́я – ёто имена́.
- 74 Кни́ги – си́ла зна́ния.
- 75 Ёто класс. Там ма́льчики.

014 名詞と3人称代名詞の関係

- 76 – Где дядя?
- Вот он.
- 77 – Где музе́й?
- Вот он.
- 78 – Где пло́щадь?
- Вот она́.
- 79 – Где мо́ре?
- Вот оно́.
- 80 – Где де́ньги?
- Вот они́.

016 所有代名詞 мой, наш (主格)

- 81 Ёто мой оте́ц.

- 61 広場。それはどこですか。
- 62 ヴォルガ。それは川です。
- 63 手紙。それはどこですか。
- 64 地下鉄。それはここです。
- 65 湖。それは海のようにです。

013 名詞の数

- 66 机はありますか。
- 67 すばらしい！いたるところに博物館がある。
- 68 ここには辞書しかない！
- 69 『イズヴェスチヤ』と『トルード』は新聞です。
- 70 通りと広場は生きた年代記です。
- 71 歌はいろいろです。
- 72 席はありますか。
- 73 イヴァン、アンナ、マリーナは名前です。
- 74 本は知識の力です。
- 75 これは教室です。そこに少年たちがいます。

014 名詞と3人称代名詞の関係

- 76 おじさんはどこですか。
ほら、ここです。
- 77 博物館はどこですか。
ほら、ここです。
- 78 広場はどこですか。
ほら、ここです。
- 79 海はどこですか。
ほら、ここです。
- 80 お金はどこですか。
ほら、ここです。

016 所有代名詞 мой, наш (主格)

- 81 これは私の父です。

- 82 Это моя мать.
- 83 Это моё дело!
- 84 Это мои родители.
- 85 Вот наш город.
- 86 Вот наша семья.
- 87 Вот наше письмо.
- 88 Вот наши дети.
- 89 Игорь, вот ваши очки.
- 90 А где ваши вещи?

017 疑問代名詞 чей? (主格)

- 91 – Чей это словарь?
– Это мой словарь.
- 92 – Чья это сумка?
– Это моя сумка.
- 93 – Чьё это пальто?
– Это моё пальто.
- 94 – Чьи это деньги?
– Это мои деньги.
- 95 А чей это багаж? Твой?
- 96 Это наша семья.
- 97 Ивановы – наши соседи.
- 98 Вот его адрес.
- 99 Это её квартира.
- 100 Их сын Олег – строитель.

018 指示代名詞 этот (主格)

- 101 Этот словарь мой.
- 102 Этот город большой.
- 103 Кто этот инженер?
- 104 Эта шапка моя.
- 105 Кто эта женщина?

- 82 これは私の母です。
 83 これは私のすることです。
 84 これは私の両親です。
 85 ほら、私たちの町です。
 86 ほら、私たちの家族です。
 87 ほら、私たちの手紙です。
 88 ほら、私たちの子供です。
 89 イーゴリ、ほら、あなたの眼鏡ですよ。
 90 では、あなたの品物はどこですか。

017 疑問代名詞 *чей?* (主格)

- 91 これは誰の辞書ですか。
 これは私の辞書です。
 92 これは誰のバッグですか。
 これは私のバッグです。
 93 これは誰のコートですか。
 これは私のコートです。
 94 これは誰のお金ですか。
 これは私のお金です。
 95 では、これは誰の手荷物ですか。君のですか。
 96 これは私たちの家族です。
 97 イヴァノフ一家は私たちの隣人です。
 98 ほら、彼の住所です。
 99 これは彼女のアパートです。
 100 彼らの息子のオレーグは建設労働者です。

018 指示代名詞 *этот* (主格)

- 101 この辞書は私のものです。
 102 この町は大きい。
 103 この技術者は誰ですか。
 104 この帽子は私のものです。
 105 この婦人は誰ですか。

- 106 А *этот* факс откуда?
 107 *Это* письмо *важное*.
 108 *Эти* улицы *широкие*.
 109 *Эти* места *дорогие*?
 110 Где *эти* деньги?

019 形容詞 (主格)

- 111 – Что *это* такое?
 – Наш *новый* театр.
 112 *Это* *наша* *новая* квартира.
 113 *Это* *новое* платье. А пальто *тоже* *новое*.
 114 Здесь *новые* кассеты, часы.
 115 Он ещё *молодой* врач.
 116 Лена *молодая* женщина!
 117 Хоккей – *зимний* спорт.
 118 «*Зимняя дорога*» – стихотворение Пушкина.

020 形容詞の用法

- 119 *Это* *вкусный* чай.
Этот чай *вкусный*.
 120 Вот *точный* адрес.
Этот адрес *точный*.
 121 Вот *большой* магазин.
 Магазин *довольно* *большой*.
 122 *Это* *старая* книга.
Эта книга *очень* *старая*.
 123 Сегодня *хорошая* погода.
 Сегодня погода *хорошая*.

021 疑問詞 *какой?*

- 124 *Какой* *это* учебник?
 125 *Какой* салат? *Мясной* или *рыбный*?

106 このファックスはどこからのものですか。

107 この手紙は重要です。

108 これらの通りは幅広い。

109 これらの席は高価ですか。

110 そのお金はどこですか。

019 形容詞（主格）

111 これはいったい何ですか。

私たちの新しい劇場です。

112 これは私たちの新しいマンションです。

113 これは新しいワンピースです。一方、コートもまた新しい。

114 ここに新しいカセットと時計がある。

115 彼はまだ若い医者です。

116 レーナは若い婦人です。

117 ホッケーは冬のスポーツです。

118 『冬の道』はプーシキンの詩です。

020 形容詞の用法

119 これはおいしいお茶です。

このお茶はおいしい。

120 ほら、正確な住所です。

この住所は正確です。

121 ほら、大きな店です。

店はかなり大きい。

122 これは古い本です。

この本はとても古い。

123 今日はよい天気です。

今日は天気がよい。

021 疑問詞 *какой*?

124 それはどんな教科書ですか。

125 どんなサラダですか。肉のですか魚のですか。

126 *Какое* это здание?

127 *Какие* это ответы?

128 *Какие* это планы?

129 *Какой* вкусный чай!

130 *Какая* хорошая работа!

131 *Какая* красивая! Кто она?

132 *Какое* красивое здание!

133 *Какие* они добрые!

023 動詞の現在形（第1変化）

134 Я *знаю* японский язык

135 Я *хорошо читаю* по-английски.

136 *Что ты делаешь* завтра?

137 *Почему ты так думаешь*?

138 *Мама, как ты не понимаешь*!

139 *Почему он не отвечает*?

140 *Лифт не работает*.

141 Мы *читаем, думаем, и понимаем* по-русски.

142 *Вечером мы отдыхаем, слушаем радио, ужинаем*.

143 *Как вы думаете, это хороший фильм*?

144 *Когда вы гуляете? Утром?*

145 *Дети сегодня не гуляют. Сегодня дождь*.

024 名詞の前置格（単数）

146 Мы *гуляем* в парке.

147 *Лена читает* в библиотеке.

148 *Мама слушает* в комнате.

149 Я не на *пенсию*, а *работаю* в музее.

150 Кто в семье не *работает*?

151 Где вы *отдыхаете*? В деревне, в городе, в санатории?

152 В России всегда *плохая погода*?

153 Туристы *гуляют* на площади.

- 126 それはどんな建物ですか。
 127 それはどんな回答ですか。
 128 それはどんな計画ですか。
 129 なんとおいしいお茶だろう！
 130 なんと立派な仕事だろう！
 131 なんと美しい！彼女は誰ですか。
 132 なんと美しい建物でしょう！
 133 なんと彼らは優しいのでしょうか！

023 動詞の現在形（第1変化）

- 134 私は日本語を知っています。
 135 私は上手に英語で読みます。
 136 君は明日なにをしますか。
 137 なぜ君はそう思うのですか。
 138 ママ、どうしてわからないの。
 139 なぜ彼は答えないのでですか。
 140 エレベーターは動いていない。
 141 私たちはロシア語で読み、考え、理解します。
 142 夕方私たちは、くつろぎ、ラジオを聴き、夕食をとります。
 143 あなたはどう思いますか。それはよい映画ですか。
 144 あなたはいつ散歩しますか。朝にですか。
 145 子供たちは今日散歩していません。今日は雨です。

024 名詞の前置格（単数）

- 146 私たちは公園で散歩します。
 147 レーナは図書館で読書しています。
 148 ママが部屋で聞いています。
 149 私は年金を受けていなく、博物館で働いています。
 150 家族の中で働いていないのは誰ですか。
 151 あなたはどこで休みますか。村ですか、町ですか、保養所ですか。
 152 ロシアではいつでも悪い天気ですか。
 153 旅行者たちが広場を散歩しています。

- 154 – Что он делает ?
 – Он отдыхает в лесу.
 155 Дети на берегу, а Шарик в воде.

025 前置詞 о, в, на と前置格

- 156 Пожалуйста. Вот книга о городе Владимире.
 157 Он рассказывает о заводе, о работе.
 158 Мы много знаем о Москве.
 159 В комнате есть телевизор.
 160 Саша – врач. Он работает в больнице.
 161 Она работает в театре.
 162 – Где Ира?
 – Она сейчас в России.
 163 Что в комнате? Что на окне?
 164 – Где мой журнал?
 – Он на столе.
 165 Папа работает на заводе.
 166 Мы отдыхаем на озере.
 167 Он выступает на концерте.

026 人称代名詞および кто, что の前置格

- 168 О чём вы рассказываете?
 169 Нина, о ком это ты рассказываешь?
 170 В чём дело?
 171 Что обо мне говорить?
 172 Газета ещё не знает о тебе.
 173 Что вы знаете о нём?
 174 Я так много о ней слышал.
 175 Серёжа, милый. Я думаю только о тебе.
 176 – О чём вы читаете?
 – Я читаю о музыке.

- 154 彼は何をしていますか。
彼は森の中で休んでいます。
- 155 子供たちは岸にいますが、犬のシャーリクは水の中です。
- 025 前置詞 о, в, на と前置格
- 156 どうぞ。ほら、ウラジーミルの町に関する本です。
- 157 彼は工場について、仕事について語っています。
- 158 私たちはモスクワについてたくさん知っています。
- 159 部屋の中にはテレビがあります。
- 160 サーシャは医者です。彼は病院で働いています。
- 161 彼女は劇場で働いています。
- 162 イーラはどこにいますか。
今彼女はロシアにいます。
- 163 部屋の中には何がありますか。窓辺には何がありますか。
- 164 私の雑誌はどこにありますか。
それは机の上にあります。
- 165 パパは工場で働いています。
- 166 私たちは湖畔で休みます。
- 167 彼はコンサートに出場しています。
- 026 人称代名詞および кто, что の前置格
- 168 あなたは何について語っているのですか。
- 169 ニーナ、君はいったい誰について語っているのですか。
- 170 何が問題なのですか。
- 171 私について何を話すべきでしょうか。
- 172 新聞はまだ君について知りません。
- 173 あなたは彼について何を知っていますか。
- 174 私は彼女についてこんなにたくさん聞いています。
- 175 かわいいセリョージャよ。私はおまえのことだけしか考えていないよ。
- 176 あなたは何について読んでいますか。
私は音楽について読んでいます。

- 027 特殊な変化をする動詞 (1)
- 177 Я давно живу́ в Москвѣ.
- 178 Кто живѣт здесь?
- 179 Мы живѣм в общежитии.
- 180 Вы живѣте в Новосибирске?
- 181 Где живѣт Петровы?
- 182 Татьяна пи́шет: «Я пишу́ вам. Что ещё надо?»
- 183 Моя́ дочь мно́го чита́ет, пи́шет рассказы.
- 184 Э́тот писа́тель пи́шет то́лько о любви́.
- 185 Вы хоро́шо пи́шете по-ру́сски?
- 186 Ви́ка и Воло́дя пи́шут пи́сьма.
- 028 動詞の現在形 (第 2 変化)
- 187 Я немно́го говорю́ по-ру́сски.
- 188 Почему́ ты вдруг говори́шь, что ты не люби́шь суп?
- 189 Дочь говори́т: “Я не понима́ю.”
- 190 Что вы говори́те?!
- 191 Лю́ди говори́т о до́ме, о здоро́вье, о рабо́те.
- 192 Ко́шка спи́т на дива́не.
- 193 Высту́пает наш сосе́д. И мы смётрим.
- 194 Оле́г звони́т по телефо́ну.
- 195 Извини́те, я не слы́шу.
- 196 Где вы сиди́те? Мы сиди́м на балконе́.
- 197 На у́лице лю́ди спеша́т.
- 029 名詞の対格 (単数)
- 198 Воло́дя чита́ет газѣту, а Ма́ша – кни́гу.
- 199 Жена́ показыва́ет журна́л «Мѣда».
- 200 Я о́чень люблю́ Ли́зу.
- 201 Со́ня покупа́ет ово́щи на ры́нке.
- 202 Они́ гото́вят у́жин.
- 203 Ты зна́ешь пло́щадь Гага́рина?

027 特殊な変化をする動詞 (1)

- 177 私は昔からモスクワに住んでいます。
178 ここには誰が住んでいますか。
179 私たちは学生寮に住んでいます。
180 あなたたちはノヴォシビルスクに住んでいるのですか。
181 ペトロフ一家はどこに住んでいますか。
182 タチャナは書く「私はあなたに書きます。それ以上何が必要でしょうか。」
183 私の娘はたくさん読み、物語を書きます。
184 その作家は愛についてしか書きません。
185 あなたは上手にロシア語で書けますか。
186 ヴィーカとヴォローチャは手紙を書いています。

028 動詞の現在形 (第 2 変化)

- 187 私は多少ロシア語を話せます。
188 なぜ君は突然いうんだ。君がスープを好きでないなんて。
189 娘は言う「私にはわかりません。」
190 あなたは何を言っているのですか。
191 人々は家について、健康について、仕事について話します。
192 猫はソファの上で寝ています。
193 私たちの隣人が登場しています。だから私たちは見ます。
194 オレーグは電話をかけています。
195 すみません、私には聞こえません。
196 あなたはどこに座っているのですか。私たちはバルコニーに座っています。
197 通りでは人々が急いでいます。

029 名詞の対格 (単数)

- 198 ヴォローチャは新聞を、マーシャは本を読んでいる。
199 妻が雑誌『モード』を見せている。
200 私はリーザがとても好きだ。
201 ソーニャは市場で野菜を買う。
202 彼らは夕食を準備している。
203 君はガガーリン広場を知っていますか。

204 Скучно, и я смотрю телевизор.

205 Пойдём на море.

206 Приглашаем на концерт.

207 Собня смётрит в окно.

208 Автобус едет на площадь.

030 人称代名詞および кто, что の対格

209 Женá совсём не понимает меня. А тво́я – теб́я?

210 Я люблю теб́я.

211 Как его́ зову́т?

212 Здесь впервые́ Оне́гин встреча́ет её.

213 Кто поздравля́ет вас?

214 Простите́, я вас не зна́ю.

215 Кого́ вы спра́шиваете об э́том?

216 Что вы зна́ете о Росси́и?

032 特殊な変化をする動詞 (2)

217 А́ня, я иду́ в магази́н.

218 Ни́на! Ты идёшь домо́й?

219 Мы идём в похóд пешко́м.

220 Потóм они́ иду́т на кúхню.

221 Я еду́ на авто́бусе.

222 Он в четвё́рг едет в Ки́ев.

223 Мы сего́дня не рабо́таем. Мы едем в центр.

224 Ма́ша идёт, а Макси́м едет на маши́не.

225 – Куда́ он едет?

– Он сейча́с едет на рабо́ту.

226 Вы едете домо́й?

033 前置詞 в, на と対格・前置格

227 Куда́ вы потóм идёте?

228 Куда́ е́хать?

- 204 退屈だ。だから、私はテレビを見ます。
 205 海に行きましょう。
 206 コンサートに招待いたします。
 207 ソーニャは窓の外を見ている。
 208 バスが広場に向かって走っていきます。

030 人称代名詞および КТО, ЧТО の対格

- 209 妻は全く私の言うことを理解しません。君の言うことはどうですか。
 210 僕は君が好きだ。
 211 彼の名前は何かですか。
 212 ここで初めてオネーギンは彼女に出会います。
 213 誰があなたをお祝いしていますか。
 214 すみません、私はあなたを知りません。
 215 あなたはそれについて誰に尋ねますか。
 216 あなたはロシアについて何を知っていますか。

032 特殊な変化をする動詞 (2)

- 217 アーニャ、私はお店に行くところですよ。
 218 ニーナ、君は家に帰るところかい。
 219 私たちは遠足に歩いていきます。
 220 それから彼らは台所に行きます。
 221 私はバスに乗っています。
 222 彼は木曜日にはキエフに行きます。
 223 私たちは今日は働きません。都心に行くところです。
 224 マーシャは歩いていますが、マキシムは自動車に乗っています。
 225 彼はどこに行くのですか。
 彼は今仕事に行くところです。
 226 あなたは家に帰るところですか。

033 前置詞 В, НА と対格・前置格

- 227 それからあなたはどこに行くのですか。
 228 どちらにやりますか。(タクシーなどで)

- 229 На чём вы едете туда?
 230 Я еду на метро.
 231 Мы едем на машине или на такси.
 232 Вот хорошо. Я тоже еду на автобусе.
 233 Как ехать на дачу: на поезде или на машине?
 234 – Вы едете на автобусе?
 – Да.
 235 Она летит на самолёте.

034 定動詞と不定動詞

- 236 Я иду в институт, а Зина идёт в школу.
 237 Каждый день он ходит на работу.
 238 Мы часто ходим в театр и на концерты.
 239 Завтра они едут на юг.
 240 Каждый год они ездят на юг.
 241 Мальчик хорошо ездит на велосипеде.
 242 Молодой человек, вы летите в Москву?
 243 Отсюда самолёты летают в Москву, Рим.
 244 Птицы летают.
 245 Мама ведёт Катю к врачу.
 246 Она водит Катю почти каждый день в парк.
 247 Дима хорошо водит машину.

036 動詞の過去

- 248 Вчера Нина читала «Огонёк».
 249 Вы читали русские газеты?
 250 Ты забыл? Я его уже читал.
 251 Они много читали, знали иностранные языки.
 252 Катя, кто писал работу?
 253 Бабушка всегда говорила: «Витя – мой внук».
 254 Володя жил в квартире. Вика жила в общежитии.
 255 Что я делала? Ничего. Я смотрела в окно.

- 229 そこへあなたは何に乗って行くのですか。
230 私は地下鉄に乗っています。
231 私たちは自動車かタクシーに乗っていきます。
232 それはよかったです。私もバスに乗って行くところです。
233 別荘にはどうやって行くのですか。列車ですか、自動車ですか。
234 あなたはバスに乗っていきますか。
はい。
235 彼女は飛行機に乗っています。
- 034 定動詞と不定動詞
236 私は研究所に行くところですが、ジーナは学校に行くところです。
237 彼は毎日仕事に行きます。
238 私たちはしばしば劇場やコンサートに行きます。
239 明日彼は南に行くところです。
240 毎年彼らは南に行ってきます。
241 少年は上手に自転車に乗れます。
242 お若いの、モスクワに飛ぼうというのか。
243 ここから飛行機がモスクワ、ローマに飛んでいます。
244 鳥は飛ぶものである。
245 ママはカーチャを医者に連れていく。
246 彼女はほとんど毎日カーチャを公園に連れていきます。
247 チーマは上手に自動車を運転します。
- 036 動詞の過去
248 昨日ニーナは『アガニョーク』を読んでいた。
249 あなたはロシアの新聞を読んだことがありますか。
250 君は忘れたのか。私はそれをすでに読んだことがある。
251 彼らはたくさん読書をし、外国語を知っていた。
252 カーチャ、誰がその作品を書いたのですか。
253 「ヴィーチャは私の孫だ」と祖母がいつも言っていた。
254 ヴォローチャはアパートに住んでいた。ヴィーカは学生寮に住んでいた。
255 私は何をしていたんだろう。何も。私は窓の外を見ていた。

- 256 Она́ обычно отве́чала: “Всё хоро́шо.”
257 Вы уже́ обе́дали?
037 動詞 быть の用法
258 Погóда была́ хоро́шая.
259 Я то́же был на мо́ре, ходи́л на пляж.
260 Я звони́ла весь день. Где ты была́?
261 Я зна́ю э́тот рестора́н. Я одна́жды была́ там.
262 Мы бы́ли на Ура́ле, на Кавка́зе.
263 Почему́ ты не́ был на концер́те?
264 Э́то интере́сный музе́й. Ра́зве ты не была́ там?
265 Ве́ра, ты бу́дешь до́ма че́рез час?
266 Серге́й бу́дет до́ма у́тром?
267 В воскресе́нье мы бу́дем на да́че.

- 038 動詞の未来形
268 У́тром я бу́ду убирать ко́мнаты.
269 Я бу́ду гото́вить обе́д.
270 Ты бу́дешь поступи́ть в университе́т?
271 И что же, ты це́лый день бу́дешь рабо́тать?
272 Ма́ма сейча́с бу́дет проверять тетра́ди.
273 Ива́н Степа́нович, кто бу́дет встре́чать вас?
274 В а́вгусте мы бу́дем отды́хать в Кры́му.
275 Где вы бу́дете встре́чать Но́вый год?
276 Вы бу́дете поку́пать кольцо́?
277 Весь день они́ бу́дут занима́ться.

- 039 特殊な変化をする動詞 (3)
278 Она́ ме́дленно шла в реда́кцию.
279 Неда́вно шёл но́вый францу́зский филь́м.
280 Официа́нт принёс меню́.
281 До́ктор, я всю ночь не могу́ спать.

- 256 彼女はいつも答えたものだ。すべてよし、と。
257 あなたはもう昼食をとりましたか。

037 動詞 **БЫТЬ** の用法

- 258 天気は良かった。
259 私もまた海に行き、海岸にいつてきました。
260 私は一日中電話していました。君はどこにいたのですか。
261 私はそのレストランを知っています。ある時そこに行ったことがあります。
262 私たちはウラル、コーカサスに行ったことがあります。
263 なぜ君はコンサートに行かなかったのかい。
264 それは興味深い博物館です。君はそこにいったことがないのかい。
265 ヴェーラ、一時間あとに君は家にいるかい。
266 朝、セルゲイは家にいますか。
267 日曜日、私たちは別荘に行きます。

038 動詞の未来形

- 268 朝に私は部屋を整理します。
269 私は昼食を準備するつもりです。
270 君は大学に進学するつもりかい。
271 じゃ、君は一日中勉強するつもりかい。
272 今ママがノートを調べるからね。
273 イヴァン・ステパーノヴィチさん、誰があなたを出迎える予定ですか。
274 8月には私たちはクリミアで休暇をとる予定です。
275 あなたはどこで新年を迎えるつもりですか。
276 あなたは指輪を買うつもりですか。
277 彼らは一日中勉強するだろう。

039 特殊な変化をする動詞 (3)

- 278 彼女はのろのろと編集部に行きました。
279 最近新しいフランス映画をやっていました。
280 給仕がメニューを持ってきました。
281 先生、私は一晩中眠れないのです。

- 282 Она уже не может работать.
283 Он не мог ехать: было много работы.
284 Что она могла сказать о подруге?
285 Я хочу купить билеты в театр.
286 Что ты хочешь делать сначала?
287 Вы хотите играть в театре?
288 Удивительно! Он не хотел уезжать.
289 Куда вы хотели поступать?

040 簡単な複文

- 290 Как? Я думал, что вы русский.
291 Я думаю, что она не знает о встрече.
292 Кто говорит, что это интересная передача?
293 Вы говорили, что она любит читать?
294 Кто говорил, что будет дождь?
295 Я знаю, что вы были в больнице.
296 Вера не знает, что завтра будут занятия.
297 Как!? Вы не знаете, что такое МГУ?
298 Я думаю, что завтра будет дождь.
299 Я говорю, что всё будет хорошо.

042 名詞の生格 (単数)

- 300 Ты не знаешь телефон работы?
301 Здесь есть номер её телефона.
302 Какой номер паспорта?
303 Гостиница стоит в центре города.
304 Что такое Университет имени Ломоносова?
305 Все знают имя Пушкина.
306 День рождения Пушкина – всеобщий праздник?
307 В комнате Володи – одно окно.
308 На севере Москвы строят новые дома.
309 На берегу моря сейчас гораздо лучше.

- 282 彼女はもう働けません。
 283 彼は行けませんでした。たくさん仕事があったのです。
 284 女友達について彼女に何が話せただろうか。
 285 私は劇場の切符を買いたい。
 286 君はまず何をしたいのかい。
 287 あなたは劇場で演奏したいですか。
 288 おどろいた！彼は出発しなくなかったのだ。
 289 あなたはどこに入学したかったのですか。

040 簡単な複文

- 290 なんだって、私はあなたがロシア人だと思いました。
 291 彼女は会見のことを知らないのだと思います。
 292 それがおもしろい番組だと誰が言っているのだ。
 293 あなたは彼女が読書好きだといいましたね。
 294 雨が降ると誰が言ったのですか。
 295 私はあなたが病院にいたことを知っている。
 296 ヴェーラは、明日授業があることを知りません。
 297 なんだって、あなたはモスクワがどんなものか知らないのですか。
 298 明日は雨になると思う。
 299 すべてがうまくいくと私は言っているのです。

042 名詞の生格（単数）

- 300 君は職場の電話を知らないのか。
 301 ここに彼女の電話番号がある。
 302 パスポートの番号は何番ですか。
 303 そのホテルは都心に建っている。
 304 ロモノソフ名称大学とはいったい何ですか。
 305 プーシキンの名前はみんなが知っています。
 306 プーシキンの誕生日は全国的な祝日ですか。
 307 ヴォローヂャの部屋には一つの窓がある。
 308 モスクワの北部には新しい家々がたっている。
 309 今は海岸の方がずっといい。

043 人称代名詞および кто, что の生格

- 310 У тебя есть программа?
 311 У него есть большой опыт.
 312 У неё добрая душа.
 313 У нас уже зима.
 314 У нас вкусная рыба.
 315 У вас прекрасный вид из окна.
 316 У них трудная жизнь.
 317 У кого он был? У врача.
 318 Я не знал, с чего начать.

044 所有の表現

- 319 У меня есть новая польская марка.
 320 У меня есть друг детства.
 321 У меня был серьёзный разговор дома.
 322 У вас есть виза?
 323 У вас есть брат?
 324 У вас есть сестра?
 325 У них есть телевизор.
 326 У нас была встреча в университете.
 327 У меня было плохое настроение.
 328 У меня будет время.

045 存在や所有の否定表現

- 329 Ну, нет. У меня нет времени.
 330 У меня нет друга в этом городе.
 331 У вас нет ручки?
 332 У них нет сына.
 333 На этой улице нет кинотеатра.
 334 Во дворе нет киоска.
 335 У меня не было учебника.
 336 Ивана Ивановича не было дома.

- 043 人称代名詞および кто, что の生格
310 君はプログラムを持っているかい。
311 彼は経験に富んでいる。
312 彼女は善良な心を持っている。
313 私たちのところではもう冬です。
314 私たちのところにはおいしい魚があります。
315 お宅では窓からの眺めが素晴らしい。
316 彼らは生活が苦しい。
317 彼は誰のところに行って来たのですか。医者のところですか。
318 私は何から始めるべきか知らなかった。

044 所有の表現

- 319 私は新しいポーランドの切手を持っています。
320 私には幼なじみがいる。
321 私の家では重大な話し合いがあった。
322 あなたはヴィザをお持ちですか。
323 あなたには兄がいますか。
324 あなたには姉がいますか。
325 彼らはテレビを持っている。
326 私たちには大学で会見があった。
327 私は気分が悪かった。
328 私には時間ができらう。

045 存在や所有の否定表現

- 329 いや、私には暇がない。
330 この町では私には友人がいない。
331 ペンをお持ちではないですか。
332 彼らには息子がいない。
333 この通りには映画館がない。
334 中庭には売店がない。
335 私は教科書を持っていなかった。
336 イヴァン・イヴァノヴィチは家にいなかった。

- 337 Завтра днём у меня не будет времени.
338 Олёга не будет дома сегодня вечером.

046 男性名詞活動体の対格 (単数)

- 339 Вчера я видел вашу сестру и её сына.
340 Сегодня я видел соседа.
341 Ты знаешь, Миша, я видел вчера там Игоря.
342 Вы не видели директора?
343 Этого человека мы хорошо знаем.
344 Мы приглашаем в гости друга и его девушку.
345 Соседа не приглашали на праздник.
346 Мама спрашивает сына дома.
347 Сегодня вся вторая квартира ждёт гостя.
348 Как зовут его сына?

047 生格支配の前置詞

- 349 Я не могу жить без театра.
350 Оля ездила на юг без Антона.
351 Сколько ехать от Петербурга до Москвы?
352 Как добраться от института до музея?
353 Сегодня у бабушки день рождения.
354 Завтра мы летим из Москвы в Токио.
355 Олёг звонит из автомата.
356 Откуда вы идёте? Я иду из магазина.
357 Около аудитории стоят студенты.
358 Около гостиницы есть театр, недалеко от неё музей.
359 Эта сумка тяжёлая для неё.
360 Это передача не для детей.

048 名詞の与格 (単数)

- 361 Вы предложили сестре купить мебель?
362 Сестра ходила к врачу в понедельник.

- 337 明日の日中、私には時間がない。
 338 今日の夕方、オレーグは家にいません。
- 046 男性名詞活動体の対格（単数）
 339 昨日あなたの姉と彼女の息子を見ました。
 340 今日私は隣人をみかけました。
 341 君は知っているだろう、ミーシャ、私が昨日あそこでイーゴリを見たのを。
 342 あなたは所長を見ませんでしたか。
 343 私たちはその人をよく知っています。
 344 私たちは友人と彼の女友だちをお客に招待しています。
 345 隣人は祝いの席に招待されなかった。
 346 ママは家で息子に質問しています。
 347 今日は2号室挙げてお客を待っています。
 348 彼の息子は何という名前ですか。
- 047 生格支配の前置詞
 349 私は劇場なしでは生きていけない。
 350 オーリャはアントン抜きで南に行ってきた。
 351 ペテルブルクからモスクワまでは、どのぐらいの旅程ですか。
 352 研究所から博物館までどのように行けばいいのですか。
 353 今日おじいさんは誕生日だ。
 354 明日、私たちはモスクワから東京へ飛び立ちます。
 355 オレーグは公衆電話から電話します。
 356 あなたはどこから来たのですか。私は店から帰るところです。
 357 講義室の付近に学生たちが立っています。
 358 ホテルの付近に劇場があり、その近くに美術館があります。
 359 そのカバンは彼女にとって重い。
 360 それは子供向け番組ではない。
- 048 名詞の与格（単数）
 361 あなたは妹さんに家具を買うよう勧めましたか。
 362 姉は月曜日に医者のところに行ってきました。

- 363 Плавать по морю необходимо.
 364 Иван Иванович дал Максиму шахматы.
 365 Ты показывала фотографии Нине?
 366 Анна Петровна купила Нине книгу.
 367 Хорошо. Я буду тебе помогать вечером.
 368 Отец делает стол, а сын отцу помогает.
 369 Это Тверская улица. А вот памятник Пушкину.
 370 Она даже завидует Нине Николаевне.
- 049 人称代名詞および кто, что の与格
 371 К кому вы идёте?
 372 А ты можешь мне это объяснить?
 373 Я хочу показать тебе новое платье.
 374 Тогда я позвоню ему сегодня.
 375 Володя встаёт и уступает ему место.
 376 Можно показать ей это письмо?
 377 К нам едет мой дедушка, Иван Степанович.
 378 Олэг часто пишет нам о Новосибирске.
 379 Мама подарила вам отличные джинсы.
 380 До свидания, Андрей Николаевич. Спасибо вам за всё.
- 050 前置詞 к, по と与格
 381 У меня к нему есть дело.
 382 Витя идёт в гости к Оле.
 383 Наша экскурсия подходит к концу.
 384 Она равнодушна к музыке.
 385 Я хочу что-то подарить сыну к празднику.
 386 На этом закончилась экскурсия по городу.
 387 По дороге я вам расскажу об истории Кремля.
 388 Какое у него мнение по этому вопросу?
 389 Я сдала экзамен по истории языка.
 390 Что говорят по телефону?

- 363 海を航行することが必要だ。
 364 イヴァン・イヴァノヴィチはマキシムにチェスを与えました。
 365 君はニーナに写真を見せたかい。
 366 アンナ・ペトロヴナはニーナに本を買いました。
 367 いいでしょう。夕方君を助けてあげよう。
 368 父親は机を作り、息子は父親の手伝いをしている。
 369 これはトヴェリ通りです。ほらあそこにはプーシキンの銅像があります。
 370 彼女はニーナ・ニコラエヴナをうらやみさえしている。

049 人称代名詞および **кто, что** の与格

- 371 あなたは誰のところへ行くところですか。
 372 で、君はそれを私に説明できるかい。
 373 私は君に新しいワンピースを見せたい。
 374 では、私が今日彼に電話しよう。
 375 ヴォローチャは立ち上がり、彼に席を譲る。
 376 彼女にこの手紙を見せてもいいですか。
 377 私たちのところに私の祖父のイヴァン・ステパーノヴィチが来ます。
 378 オレーグはしばしば私たちにノヴォシビルスクについて書いてきます。
 379 ママはあなたたちにすてきなジーンズをプレゼントしました。
 380 さようならアンドレイ・ニコライヴィチさん、お世話になりました。

050 前置詞 **к, по** と与格

- 381 私は彼に用がある。
 382 ヴィーチャはオーリャのところにお客に行く。
 383 私たちの見学も終わりに近づいています。
 384 彼女は音楽に無関心だ。
 385 私は息子に祝日に何かプレゼントしたい。
 386 町の見学はそれで終わった。
 387 途中で私はあなたにクレムリンの歴史についてお話しします。
 388 その問題について彼はどんな意見を持っていますか。
 389 私は言葉の歴史に関する試験を受けた。
 390 電話では何が話されていますか。

051 無人称文

- 391 – Вам не хóлодно?
 – Бýло хóлодно, но сейчас тепло.
 392 Пора идти. До свидания!
 393 Óчень приятно с вами познакомиться.
 394 Лидия Ивановна, можно мне сесть за пёрвый стол?
 395 В аудиторию нельзя войти: у меня нет ключа.
 396 В аудиторию нельзя входить: там лекция.
 397 Интересно сравнить эту коллекцию с нашей.
 398 Мне было смешно видеть всё это.
 399 В этом лесу было очень хорошо.
 400 Олёгу было скучно в больнице.
 401 Хорошо, что вы здесь.
 402 Жалко, что вас не было на концерте.

052 特殊な変化をする動詞 (4)

- 403 Что ты рисуешь?
 404 Он рисует такую картину!
 405 Я не умею рисовать.
 406 Как вы себя чувствуете?
 407 Он чувствует себя плохо.
 408 Тóлько Лёночка чувствовала себя прекрасно.
 409 А ещё чем вы интересуетесь?
 410 Чем я интересуюсь? Работой.
 411 С детства я интересовался химией.
 412 Как вы путешествуете?

053 数詞 (5)

- 413 Я уже сто раз звонил.
 414 Пирогов жил и работал сто лет назад.
 415 В учебнике было двести страниц.
 416 Потом я купила четыреста грамм рыбы.

051 無人称文

- 391 あなたは寒くありませんか。
寒かったです、今は暖かいです。
- 392 行く時間だ。さようなら。
- 393 お会いできて大変うれしく思います。
- 394 リヂヤ・イヴァノヴナ、最初のテーブルに座っていいですか。
- 395 講堂には入れません。私は鍵を持っていません。
- 396 講堂に入っただけはいけません。あそこでは講義が行われています。
- 397 そのコレクションを私たちのと比べるのはおもしろい。
- 398 これらはみな、見ていてこっけいだった。
- 399 その森の中はとてもよかった。
- 400 オレグにとって病院は退屈だった。
- 401 あなたがここにいてよかった。
- 402 あなたがコンサートにいかなかったのが残念だ。

052 特殊な変化をする動詞 (4)

- 403 君は何を描いているのかい。
- 404 彼はこんな絵を描いている。
- 405 私は絵を描けない。
- 406 ご気分はいかがですか。
- 407 彼は気分がすぐれない。
- 408 レーノチカだけがすばらしい気分だった。
- 409 で、そのほかにあなたは何に興味を持っていますか。
- 410 私は何に興味を持っているのだろう。仕事に。
- 411 子供の頃から私は化学に興味を持っていた。
- 412 ご旅行はいかがですか。

053 数詞 (5)

- 413 もう百回も電話しました。
- 414 ピロゴフは百年前に生き、仕事をしました。
- 415 教科書は 200 ページあった。
- 416 それから私は魚を 400 グラム買った。

417 Каждый день сюда приходит пятьсот человек.

054 名詞の造格 (単数)

- 418 Мальчик пишет ручкой в учебнике.
- 419 Пётя работает официантом в ресторане.
- 420 Летом я работал строителем на стройке.
- 421 Антон будет инженером.
- 422 Кем станет наш сын через три года?
- 423 Он стал начальником. У него кабинет.
- 424 Он увлекается футболом.
- 425 Эта история является чистой правдой.
- 426 Она уехала с мужем в Минск – и всё.

055 人称代名詞および кто, что の造格

- 427 Кем он будет?
- 428 Кем работает Анна Петровна?
- 429 Кем вы хотите стать?
- 430 Чем ты опять недовольна?
- 431 Она не хочет со мной разговаривать.
- 432 Вчера у нас с ним был интересный разговор.
- 433 Я не могу согласиться с ней.
- 434 Мы с ней мало знакомы.
- 435 Можно с вами поговорить?
- 436 И тут начался между ними спор.

056 造格支配の前置詞

- 437 С ним всегда интересно поговорить.
- 438 За почтой был гастронóm. А сейчас?
- 439 А что там дальше, за горизонтом?
- 440 Они остановились перед театром.
- 441 Почему так тихо перед Новым годом?
- 442 Перед дорогой надо посидеть немного.

417 毎日ここに500人の人が来ます。

054 名詞の造格（単数）

418 少年が教科書にペンで書いています。

419 ペーチャはレストランで給仕の仕事をしている。

420 夏、私は建設現場で建設労働者として働いた。

421 アンTONは技師になるだろう。

422 3年後、私たちの息子は何になるのだろう。

423 彼は所長になった。彼は執務室を持っている。

424 彼はサッカーに夢中だ。

425 その歴史は全くの真実だ。

426 彼女は夫とミンスクに去った。それっきりだ。

055 人称代名詞および КТО, ЧТО の造格

427 彼は何になるのだろうか。

428 アンナ・ペトロヴナは何の仕事をしていますか。

429 あなたは何になりたいですか。

430 君はまた何に不満なんだ。

431 彼女は私と話したがらない。

432 昨日、私は彼と興味深い話をした。

433 私は彼女に同意できない。

434 私は彼女をよく知らない。

435 あなたとお話ししていいですか。

436 そうこうしているうちに彼らの間で口論が始まった。

056 造格支配の前置詞

437 彼と話すのはいつも興味深い。

438 郵便局の向こうに食料品店があった。ところで今は。

439 あのむこう、地平線のむこうには何があるのだろう。

440 彼らは劇場の前で立ち止まった。

441 元日の前は何でこんなに静かなんだろう。

442 旅に出る前にはちょっと座らなければいけない。

443 Над рекой был густой туман.

444 Над нами было ясное небо.

445 Над головой – только голубое небо.

446 Где письмо? Может быть, оно под столом?

057 ся 動詞

447 Я немножко боюсь воды.

448 Этот студент боится мороза.

449 Эта работа требует времени.

450 Он раньше учился музыке.

451 Мать радуется письму сына.

452 Чем я ещё интересуюсь?

453 Николай Иванович занимался делом.

454 Вы занимаетесь спортом?

058 再帰人称代名詞 себя

455 Чувствуйте себя как дома.

456 Я жду ребёнка и чувствую себя плохо.

457 Ну, хорошо, ты сама себя спасла.

458 Мы приглашаем их к себе.

459 На всякий случай, он взял с собой журнал.

460 Папа смотрел только перед собой на дорогу.

461 Оля кладёт рядом с собой сумку и ждёт дядю.

462 Расскажите о себе.

- 443 川の上は深い霧だった。
 444 私たちの上には晴れた空があった。
 445 頭の上には青い空があるだけだ。
 446 手紙はどこですか。もしかしたら机の下かもしれない。

057 ся 動詞

- 447 私はちょっと水が怖い。
 448 その学生は寒波をおそれている。
 449 その仕事には時間がかかる。
 450 彼は以前音楽を学んでいた。
 451 母親は息子の手紙に喜んでいる。
 452 そのほかに私はどんな興味を持っているのだろう。
 453 ニコライ・イヴァノヴィチは仕事に取り組んでいた。
 454 あなたはスポーツをしますか。

058 再帰人称代名詞 себя

- 455 家にいるようにおくつろぎください。
 456 私は妊娠していて、気分が悪い。
 457 まあいいだろう。君は自分で自分を救うがいい。
 458 私たちは彼らを自分の家に招待します。
 459 万が一のために、彼は雑誌を持っていった。
 460 パパは自分の前の道路だけを見ていた。
 461 オーリャは自分の脇にバッグを置き、おじを待つ。
 462 自分についてお話ください。

059 完了体と不完了体

- 463 Володя и Вика долго решали, как ехать на дачу.
 464 Я давно тебя жду. Почему ты так долго не идёшь?
 465 Я долго не понимал его, наконец, понял.
 466 Почему вы так медленно читаете?
 467 Машины ехали медленно из-за густого тумана.
 468 Я звонил вам вчера вечером, но вас не было дома.
 469 Ты не брал мою книгу? Где она?
 470 Ты взял рубашки?
 471 Когда сеанс кончится?
 472 Работа кончается в 5 каждый день.
 473 Дочь кончает школу. Она уже взрослая.
 474 Я кончу работу и сразу приеду в театр.
 475 Простите, что вы сказали?
 476 А кто тебе это сказал?
 477 Садитесь, давайте проводим старый год.
 478 Вы уже уходите?
 479 Я привык вставать рано. А вы?
 480 Я теперь научилась готовить завтрак сама.
 481 Ребята перестали шуметь.
 482 Мне удалось достать билет на хоккей.
 483 Я успела послать письма вовремя.

060 体と接頭辞

- 484 Она неслышно вошла в дверь.
 485 Он несколько раз входил в комнату.
 486 Пётя, почему ты вышел из класса до звонка?
 487 Пётя обычно выходил из дома в 8.
 488 Его нет здесь: ушёл в магазин.
 489 Он обычно уходил домой поздно.

059 完了体と不完了体

- 463 ヴォロヂャとヴィーカは長い間どうやって別荘に行くか決めかねていた。
464 私は君をずっと待っている。何で君はこんなに長い間、来ないのだ。
465 私は長い間彼を理解しかねていたが、ついにわかった。
466 なぜあなたはそんなにゆっくり読むのですか。
467 深い霧のせいで車はゆっくりと進んでいた。
468 昨日夕方私はあなたに電話しましたが、あなたは家にいませんでした。
469 君は私の本を借りていないかい。それはどこにあるの。
470 君はワイシャツを持ったかい。
471 その出し物はいつ終わりますか。
472 毎日仕事は5時に終わります。
473 娘はもう学校を終えようとしている。彼女はもう大人です。
474 私は仕事を終え、すぐに劇場に行きます。
475 すみません、なんとおっしゃいましたか。
476 誰が君にそれを話したんだ。
477 お座りください。暮れる年を送りましょう。
478 もうお帰りですか。
479 私は早起きに慣れました。あなたは。
480 今では自分で朝食を作ることを覚えました。
481 みんなは騒ぐのをやめた。
482 私はうまくホッケーの切符を手に入れた。
483 私は間に合うように手紙をだすことができた。

060 体と接頭辞

- 484 彼女はそっとドアから入った。
485 彼は何回かその部屋に侵入した。
486 ペーチャ、君は何でベルの前に教室から出たんだ。
487 ふつうペーチャは8時に家を出ることにしていた。
488 彼はここにいません。店へと出ていきました。
489 ふつう彼は遅くなってから家に帰っていった。

- 490 Вáся встал и подошёл к окну́.
491 Он нéсколько раз подходíл к другу́, но тот молча́л.
492 Пóезд отошёл от ста́нции на две мину́ты пóзже.
493 Скро́ро пришёл врач. Он послу́шал се́рдце и лёгкие

061 不定人称文

- 494 Говоря́т, у нас бу́дет заче́т по исто́рии.
495 Говоря́т, что я похóж на неё.
496 Мне сказа́ли, что Мари́ны нет до́ма.
497 У́тром по ра́дио сказа́ли, что не бу́дет дождя́.
498 Ему́ сказа́ли, что Вáся уже́ ушёл.
499 Говоря́т, фильм неплохóй.
500 Мне сове́товали его́ посмотре́ть.
501 На проспéкте стрóят но́вые дома́.
502 Когда́ пострóят но́вую шкóлу?
503 Э́то пра́вило бы́стро запóмнили.
504 В дере́вне живу́т споко́йно.

062 形容詞短語尾

- 505 Он всегда́ вéсел.
506 Лéночка всегда́ веселá.
507 Э́тот го́род о́чень краси́в.
508 Ему́ хоте́лось знать, краси́ва ли она́.
509 Она́ была́ краси́ва, но не молодá.
510 Па́мятники писа́телям о́чень краси́вы.
511 Э́та пьéса интере́сна по содер́жанию.
512 Что интере́сно в э́том фи́льме?
513 Петербу́рг хоро́ш во вся́кую по́ру.
514 Отчегó хоро́ша пу́стыня?

063 形容詞短語尾の用法

- 515 На ю́ге о́чень краси́во.

- 490 ヴァーシャは立ちあがり、窓に歩み寄った。
491 彼は何回か友人に近づこうとしたが、友人は黙ったままだった。
492 列車は駅を2分遅れで出発した。
493 すぐに医者 came。彼は心臓と肺を聴診した。

061 不定人称文

- 494 歴史の小テストがあるという話だ。
495 私は彼女に似ていると言われる。
496 私はマリーナが家にいないといわれた。
497 朝、ラジオで、雨にならないだろうと言っていた。
498 ヴァーシャがもう出たと彼は言われた。
499 その映画は悪くないと言われている。
500 私はそれを見るようにと勧められた。
501 大通りでは新しい建物が建てられている。
502 新しい学校はいつ落成するのですか。
503 その規則はたちまちに覚えられた。
504 村では平穏な暮らしぶりだ。

062 形容詞短語尾

- 505 彼はいつでも明るい。
506 レーノチカはいつでも明るい。
507 この町はとても美しい。
508 彼は、彼女が美しいかどうか知りたがっていた。
509 彼女は美しいが、若くはなかった。
510 作家たちの銅像はとても美しい。
511 この劇は内容が興味深い。
512 その映画の中で何が興味深いですか。
513 ペテルブルクはいつの季節でもすばらしい。
514 砂漠のどこがいいのですか。

063 形容詞短語尾の用法

- 515 南方はとても美しい。

- 516 Мы знали о нём только то, что он жив и здоров.
517 Она всегда занята.
518 Она быстро и хорошо вам печатает.
519 Был густой туман, но он вел машину уверенно и быстро.
520 Сейчас мама дома. Утром мы спокойно завтракаем.
521 Он обязан приходить вовремя.
522 Хороший словарь всегда нужен.
523 Я должен узнать его тайну.
524 Но ты должен был работать!
525 Мы должны заплатить деньги сегодня?

064 動詞の命令形

- 526 Скажите, как найти выход?
527 Здравствуйте! Проходите, раздевайтесь.
528 Заходите в комнату.
529 Не уходите. Ещё рано.
530 Папа, давай посмотрим телевизор.
531 Тогда давай возьмём ещё чёрный кофе.
532 Билетов уже нет! Ну, тогда давай купим билеты на завтра.
533 Пусть кто-нибудь принесёт мел!
534 Пусть он придёт вечером.
535 Вызови Таню. Пусть она едет в деревню.

065 形容詞の対格 (単数)

- 536 Какой язык вы знаете?
537 Какую музыку любит мой сын?
538 Как можно купить новую квартиру?
539 Антон купил новый журнал и новую книгу.
540 Он купил дорогую кружку.
541 У меня за контрольную работу «отлично».
542 Подарил ей большую куклу.
543 Алёна дала мне интересную книгу.

- 516 我々が彼について知っているのは、彼が存命で健康だということだけだ。
517 彼女はいつも忙しい。
518 彼女は手早く美しくあなたにタイプしてくれます。
519 濃い霧だったが、彼は確かな腕前と高速で自動車を運転していた。
520 今、ママは家にいます。朝には私たちは安心して朝食をとります。
521 彼は時間どおりに来る義務がある。
522 良い辞書はいつでも必要だ。
523 私は彼の秘密を知らなければならない。
524 でも君は働かなければならなかった。
525 私たちは今日お金を払わなければならないのですか。

064 動詞の命令形

- 526 すみません、出口をどうやって探せばいいのですか。
527 こんにちは、お入りください、上着をお脱ぎください。
528 部屋にお入りください。
529 帰らないでください。まだ早いですから。
530 パパ、テレビを見ようよ。
531 じゃ、ブラック・コーヒーをもう一杯もらおうか。
532 切符はもうありません。じゃ、明日の分の切符を買おう。
533 誰かにチョコレートを持ってこさせてください。
534 彼を夕方に来させてください。
535 ターニャをお呼び。彼女を村に行かせなさい。

065 形容詞の対格（単数）

- 536 あなたはどんな言葉を知っていますか。
537 私の息子はどんな音楽が好きなのだろうか。
538 新しいマンションはどうすれば買えますか。
539 アントンは新しい雑誌と新しい本を買いました。
540 彼は高価なジョッキを買いました。
541 私は学校のテストで「優」をとった。
542 彼女に大きな人形をプレゼントしなよ。
543 アリョーナは私に興味深い本をくれた。

- 544 Посмотри́ на э́ту фотогра́фию.
545 О́кна выхо́дят как раз на Кре́мль и Москвú-реку́.

066 所有代名詞の対格（単数）

- 546 Прочита́й мою́ телегра́мму, там а́дрес.
547 Вы́пьем за на́шу встре́чу.
548 Я люблю́ мои́ кни́ги. Кни́ги – моё увлече́ние.
549 Приходи́те ко мне, бери́те чита́ть мои́ кни́ги.
550 Я хочу́ показа́ть вам на́шу да́чу.
551 Вы уже́ ви́дели на́шу маши́ну?
552 Са́ша, мо́жно взять твою́ ру́чку?
553 Как зову́т твою́ ма́му?
554 Как я узнаю́ ва́шу подру́гу?
555 Напиши́те егó а́дрес.

067 指示代名詞の対格（単数）

- 556 Ты смотре́л э́тот филь́м?
557 Мо́жно взять э́тот сту́л?
558 Не сто́ит ходи́ть на э́ту пьесу́.
559 Вы мо́жете взять э́ту кни́гу домо́й.
560 Мы реши́ли э́ту пробле́му.
561 Ли́за, в э́ту суббо́ту у нас бу́дет Никола́й.
562 Мо́жно показа́ть ей э́то письмо́?
563 Я не должна́ отвеча́ть на э́ти вопро́сы.
564 Она́ люби́т э́ти фруќты.
565 Я не хочу́ смотре́ть э́ти фотогра́фии.

068 形容詞の比較級（1）

- 566 Он перево́дил бо́лее трудо́вые те́ксты.
567 Со мной́ быва́ли и бо́лее забавные слу́чай.
568 Я не прóбовал бо́лее вку́сных ви́шен за всю свою́ жизнь.

544 この写真を見てごらん。

545 窓はちょうどクレムリンとモスクワ川に面している。

066 所有代名詞の対格（単数）

546 私の電報をすっかり読んでごらん。そこに住所があるから。

547 私たちの出会いに乾杯しましょう。

548 私は自分の本が好きだ。本は私の道楽だ。

549 私のところにいらっしゃい。私の本を借りてお読みなさい。

550 私はあなたに我が家の別荘をお見せしたい。

551 あなたはもう我が家の自動車を見ましたか。

552 サーシャ、君のペンを借りてもいいかな。

553 君のママの名前はなんと言いますか。

554 何で私があなたの女友達を知っていようか。

555 彼の住所を書いてください。

067 指示代名詞の対格（単数）

556 君はその映画を見たかい。

557 このイスを持って行っていいかい。

558 そんな芝居にいく価値はない。

559 あなたはこの本を家に持って行っていいですよ。

560 私たちはその問題を解決した。

561 リーザ、今度の土曜日には私たちのところにニコライが来るよ。

562 彼女にこの手紙を見せてもいいですか。

563 私はこの問題に答えなくてもいい。

564 彼女はこの果物が好きだ。

565 私はこれらの写真を見たくない。

068 形容詞の比較級（1）

566 彼はもっと難しい文章を翻訳したことがある。

567 私にはもっと滑稽なことがありました。

568 生涯こんなにおいしいさくらんぼを食べたことはありません。

569 Я не помню утра более голубого и свежего!

570 Мне нужен более тонкий инструмент.

571 Второе дело более вероятно.

572 Это будет ещё более грубой ошибкой.

573 Применили более хитрый способ.

574 Более опытный коллега отвечает на этот вопрос.

575 Он ещё раз более внимательно осмотрел витрины.

069 形容詞の前置格（単数）

576 Родители получили квартиру в новом доме.

577 Он работал на новом заводе в лаборатории.

578 Мы живём в новом районе.

579 Я прочитал статью о новом полёте в космос.

580 Володя жил в новой квартире.

581 Ты должен рассказать о твоём новой работе.

582 Нина учёится в новой школе.

583 Кремль стоит на очень красивом месте.

584 На реке мы жили в красивой палатке.

585 Ученики вспоминали об умном, интересном учителе.

070 所有代名詞の前置格（単数）

586 Я рассказываю о Максиме, моём брате.

587 Ты хочешь покататься на моём велосипеде?

588 Что он мне написал о моём романе?

589 В нашем доме живут очень интересные люди.

590 Что идёт в нашем кинотеатре?

591 На нашей улице есть театр.

592 В вашем городе есть музеи?

593 Машина уже на вашей площади. Куда теперь ехать?

594 Расскажите о вашей научной работе.

595 Ты должен рассказать о твоём заводе.

569 こんなに青々として新鮮な朝ははじめてです。

570 もっと細かい道具が必要です。

571 二番目のことの方が本当らしい。

572 それはさらに重大な誤りになるだろう。

573 もっとうまい方策がとられた。

574 より経験のある同僚がその質問に答えています。

575 彼はもう一度もっと注意深くショーウィンドウを見た。

069 形容詞の前置格（単数）

576 両親は新しいアパートの中に部屋を得た。

577 彼は新しい工場の研究所で働いている。

578 私たちは新しい地区に住んでいます。

579 私は最新の宇宙飛行に関する記事を読みました。

580 ヴォローチャは新しいマンションに住んでいる。

581 君は自分の新しい仕事について話さなければならない。

582 ニーナは新しい学校で学んでいる。

583 クレムリンはとても美しい場所にたっている。

584 川岸で私たちは美しいテントで過ごしていました。

585 生徒たちは、賢くて興味深い教師のことを思い出していた。

070 所有代名詞の前置格（単数）

586 私の弟マキシムについて話しをしています。

587 君は僕の自転車にちょっと乗ってみたいかい。

588 彼は私の小説について何を書いてきたのだろう。

589 私たちのアパートにはとても興味深い人々が住んでいる。

590 私たちの映画館では何をしていますか。

591 私たちの通りには劇場がある。

592 あなたの町には博物館がありますか。

593 車はもうあなたの言う広場につきました。今度はどこにやりますか。

594 あなたの学問業績についてお話ください。

595 君は君の工場について話さなければならない。

071 指示代名詞の前置格（単数）

596 В каком доме он живёт?

597 В какой стране вы живёте?

598 В этом случае ты права.

599 В этом лесу было очень хорошо.

600 Что ты купил в этом магазине?

601 Раньше я об этом не думал.

602 Об этом нельзя забывать.

603 На этой улице есть аптека?

604 На этой площади находится Малый театр.

605 В этой комнате живёт сын, а в этой – дочь.

072 形容詞の比較級（2）

606 Книга интереснее фильма.

607 Танечка, говори громче. Здесь очень шумно.

608 Нет, спасибо, лучше завтра. Я сегодня очень устал.

609 Почта дальше, чем «Гастробом», и ближе, чем аптека.

610 Он учётся ещё хуже, чем я!

611 Олег рассказывает интереснее Зины.

612 Она старше меня на три года.

613 Она моложе меня на четыре года.

614 Конечно, вам надо ехать на метро. Это гораздо быстрее.

615 Я всё больше и больше тебя люблю.

616 Немного правее стадиона вы видите мост для метро.

617 Кого ты больше любишь? Маму или папу?

073 形容詞の生格（単数）

618 С какого вокзала отходит поезд?

619 Из какой страны вы приехали?

620 Миша, ты не помнишь, до какого часа работает универсам?

621 Идёт урок русского языка.

622 Каково значение этого исторического факта?

- 071 指示代名詞の前置格（単数）
596 彼はどの家に住んでいるのですか。
597 あなたはどの国に住んでいるのですか。
598 この場合は君が正しい。
599 その森の中はとてもよかった。
600 その店で君は何を買いましたか。
601 以前私はそれについて考えたことはありませんでした。
602 そのことを忘れてはいけない。
603 この通りには薬局がありますか。
604 この広場にはマールィ劇場があります。
605 この部屋には息子が、その部屋には娘が住んでいる。
- 072 形容詞の比較級（2）
606 本は映画よりおもしろい。
607 ターニチカ、もっと大きな声で話しなさい。ここはともうるさい。
608 いや、結構、明日の方がいい。今日私はとても疲れた。
609 郵便局は「食料品店」より遠く、薬局より近い。
610 彼は私よりもっと勉強ができない。
611 オレーグはジーナよりおもしろく語る。
612 彼女は私より3歳年上だ。
613 彼女は私より4歳若い。
614 もちろんあなたは地下鉄で行くのです。その方がずっと早い。
615 私はますますあなたを愛しています。
616 競技場から少し右に地下鉄用の橋が見えるでしょう。
617 君はどちらの方が好きですか。ママですか、パパですか。
- 073 形容詞の生格（単数）
618 その列車はどの駅から出ているのですか。
619 どの国からあなたは来たのですか。
620 ミーシャ、君はデパートが何時までやっているか覚えていないか。
621 ロシア語の授業が行われている。
622 その歴史的事実の意義はいかなるものか。

- 623 Во время обеденного перерыва мы вместе ходим в столовую.
624 Напротив Большого театра стоит памятник.
625 Что интересного вы видели?
626 Приятного аппетита!
627 Всего доброго. Спокойной ночи.
- 074 所有代名詞の生格（単数）
628 Вот комната моего мужа.
629 Понимаете, у моего друга в субботу день рождения.
630 Поздравьте её от моего имени.
631 От дома до моей работы нет прямого сообщения.
632 Я влюбился в Викторию. Это девушка моей мечты.
633 Остановка находится как раз напротив нашего дома.
634 Вот и прошёл ещё один год нашей жизни.
635 Жду твоего письма.
636 Таня, ты делала упражнения? Я не вижу твоей тетради.
637 Это Оля? Я ждал вашего звонка вечером.
638 Как доехать от вашего института до центра?
- 075 指示代名詞の生格（単数）
639 У этого журналиста хороший стиль.
640 У этого слова два значения.
641 У этого молодого человека болит голова.
642 Какие картины этого художника вам особенно нравятся?
643 Вы знаете этого молодого человека?
644 Я помню немного фактов из этой статьи.
645 Как вы понимаете смысл этой пословицы?
646 Туристы на автобусе доезжают до этой горы.
647 Из-за этого начался ужасный шум.
648 С того вечера я стал читателем книг.

623 昼休みの時に私たちは一緒に食堂に行きます。

624 ポリショイ劇場の正面に銅像が立っている。

625 どんなおもしろいものをあなたはご覧になりましたか。

626 どうぞ召し上がれ。

627 ごきげんよう。おやすみなさい。

074 所有代名詞の生格（単数）

628 ほら、私の夫の部屋です。

629 私の友人は土曜日が誕生日なんですよ。

630 彼女には私からもお祝いをいってください。

631 私の家から職場まで直通はありません。

632 私はヴィクトリアに夢中です。あの娘は私の夢です。

633 停留所はちょうど我が家の正面にある。

634 私たちの人生における1年がいよいよまた去っていく。

635 君の手紙を待っているよ。

636 ターニャ、君は練習問題をやったかい。君のノートが見あたらない。

637 オーリヤかい。夕方あなたの電話をお待ちしていました。

638 あなたの大学から都心までどうやって行けばいいのですか。

075 指示代名詞の生格（単数）

639 そのジャーナリストはよい文体をしている。

640 その単語には2つの意味があります。

641 その若者は頭を痛がっている。

642 その画家のどの絵が特にお気に入りですか。

643 あなたはその若者をご存じですか。

644 私はその記事からいくつかの事実を覚えている。

645 あなたはそのことわざの意味をどのように理解していますか。

646 バスに乗った旅行者たちはこの山までは到着できる。

647 そのせいでひどい騒ぎが始まった。

648 その夜から私は本の読者になった。

076 形容詞の最上級（1）

649 Кóстя перевёл сáмый большóй текст.

650 Свáдьба – сáмый счастливый день в её жízни.

651 Нóвый телескóп – сáмый большóй в мíре «глаз».

652 Сáмый интересný институт в Москвё – театральный.

653 Говорят, что она сáмая красивая дéвушка во дворé.

654 Кúхня – сáмое свётлое мéсто в квартирé.

655 Какóе путешéствие бýло сáмым интересным?

656 Сáмое интересное в Москвё – ёто москвичí.

657 Байкáл – сáмое глубóкое óзеро на Землé.

658 Мы видели сáмые современныe самолёты.

659 До университéта лúчше всего дóехать на метрó.

660 Мне бóльше всего нрáвится нáша кúхня.

661 Что вам бóльше всего понрáвилось?

077 形容詞の与格（単数）

662 У неё хорóшая подготóвка по рúсскому языкú.

663 Что ты купíл к нóвому учéбному гóду?

664 Нúжно приготóвить блóдо по нóвому рецéпту.

665 К óчень стáрому человекú вызвали врачá.

666 К молодóму человекú подошла жéнщина.

667 Как пройти к Большóму театрú?

668 Как пройти к Красной плóщади?

669 По ширóкому Лéнинскому проспéкту мы поéдем на Воробьёвы гóры.

670 Мáльчик мечтáет стать чемпиóном мíра по фигурному катáнию.

671 Сначала я идú к автобусной останóвке.

078 所有代名詞の与格（単数）

672 Нúжно позвонíть моемú стáрому дрúгу ещё по институтú.

076 形容詞の最上級 (1)

- 649 コースチャが一番長い文章を訳した。
650 婚礼が、彼女の人生で一番幸福な日だ。
651 新しい望遠鏡は世界最大の「眼」だ。
652 モスクワで一番興味深い専門学校は演劇学校だ。
653 彼女はアパートの中庭では一番美しい娘だという話だ。
654 台所は住まいで一番明るい場所だ。
655 どんな旅行が一番おもしろかったですか。
656 モスクワで一番おもしろいもの、それはモスクワっ子です。
657 バイカルは地球上でもっとも深い湖です。
658 私たちは最新の飛行機を見ました。
659 大学までは地下鉄で行くのが一番だ。
660 私はわたしたちの台所が一番気に入っている。
661 あなたは何が一番気に入りましたか。

077 形容詞の与格 (単数)

- 662 彼女はロシア語の予習をしっかりとやっている。
663 新学期に備えて君は何を買いましたか。
664 新しいレシピで料理する必要がある。
665 とても年をとった人のところに医者と呼ばれた。
666 その若者のところに婦人が近づいた。
667 ポリショイ劇場にはどうやって行けばいいのですか。
668 赤の広場にはどうやって行けばいいのですか。
669 広いレーニン大通りを通して私たちは雀が丘に行きます。

670 その少年はフィギア・スケートの世界チャンピオンになることを夢見ている。
671 まず私はバスの停留所に行きます。

078 所有代名詞の与格 (単数)

- 672 大学時代からの私の古い友人に電話する必要がある。

673 Мне не нравится имя Мари́я. А моему́ па́пе нравится э́то имя.

674 Ива́нов подошёл к моёй же́не и пригласи́л её на вальс.

675 Расска́жите на́шему го́стью о самова́ре.

676 Ка́кие тури́стские ма́ршруты е́сть по на́шей стране́?

677 Я у́же не зна́ю, что скажу́ тво́ему́ бра́ту.

678 Спа́сибо тво́ей же́не и Влади́миру!

679 Я прише́л по тво́ей про́сьбе.

680 Что зна́чит, по ва́шему мн́ению, бы́ть душо́й о́бщества?

681 Ко́гда вы поёдете к ва́шему бра́ту?

682 Ну́жно переда́ть ва́шей сестре́ кни́гу.

079 指示代名詞の与格 (単数)

683 Но к э́тому вре́мени нам захоте́лось спать.

684 Како́е у него́ мн́ение по э́тому вопро́су?

685 Позвони́ть за гра́ницу по э́тому телефо́ну мо́жно?

686 Иди́те по э́той у́лице пра́мо, до ко́нца.

687 Он не зна́ет, что сказа́ть э́той пу́стой де́вушке.

688 Вся́кий интере́с к э́той рабо́те у неё пропада́ет.

689 Расска́жи э́той ми́лой де́вушке, что́ вы тут де́лаете.

690 Они́ иду́т к то́му отде́лу, где продаю́т ну́жные кни́ги.

080 形容詞の最上級 (2)

691 Посмотри́те напра́во: там краси́вейший вид.

692 Мы отпра́вляем посыл́ки на бли́жайшей по́чте.

693 Како́й старе́йший теа́тр Москвы́?

694 Одна́ из ва́жнейших зада́ч – пострóбить райо́н по-но́вому.

695 Ка́ждый мале́йший ша́г имéет значéние для бу́дущей жи́зни.

696 Ка́кие пра́здники наи́более популя́рны в ва́шей стране́?

697 Ка́кие профéссии наи́более ва́жны для люде́й?

698 Где он мо́жет наи́более по́лно вы́разить свои́ мы́сли?

673 私はマリヤという名前が気に入らないが、私のパパはその名前が気に入っている。

674 イワノフは私の妻に近づいて、彼女をワルツに誘った。

675 私たちのお客さんにサモワールについて話してください。

676 我が国にはどのような旅行ルートがありますか。

677 君の兄(弟)に何を言ったらいいかも分からないよ。

678 君の奥さんとヴラヂーミルに感謝しています。

679 君の頼みでやってきたんだ。

680 君の意見では、「一座の花」になるということはどういうことかい。

681 あなたはいつお兄さんに会いに行くのですか。

682 君の妹に本を手渡さなければならない。

079 指示代名詞の与格(単数)

683 でも、その時までには私たちは眠くなった。

684 この問題に関して彼はどのような意見を持っていますか。

685 この電話で外国に電話することができますか。

686 この通りを端までまっすぐ行ってください。

687 彼はそのくだらない娘になんと言ったらいいか分からなかい。

688 その仕事に対するあらゆる興味が彼女からなくなりつつあった。

689 そのかわいい娘に、君たちがそこで何をしているのかを話せよ。

690 彼らは必要な本を売っている売場に行く。

080 形容詞の最上級(2)

691 右側をご覧ください。そこにはまことに美しい景色があります。

692 私たちは最寄りの郵便局で小包を送ります。

693 モスクワで一番古い劇場はどれですか。

694 最重要課題の一つは、その地区を新たに建設することだ。

695 小さな一步一步が将来の人生にとっての意義を持つ。

696 あなたの国ではどの祝日が一番人気がありますか。

797 人々にとって一番重要な職業は何ですか。

798 彼は自分の考えをどこで一番よく発揮することができますか。

699 Вот наиболее интересные места в городе.

700 Скажите, какой из вопросов вам показался наиболее интересным?

081 形容詞の造格(単数)

701 Каким поездом мы поедём?

702 Каким видом спорта вы занимаетесь?

703 Каким же вы были артистом?

704 С Новым годом, с новым счастьем!

705 Вадим вчера познакомился с нашим новым соседом.

706 Я хочу встретиться с моим старым другом.

707 Я говорил по телефону с моим старым другом.

708 Виктор пойдёт в кино со своей старой знакомой.

709 С лёгким паром!

710 Господá! – сказа́л он прекра́сным го́лосом.

082 所有代名詞の造格(単数)

711 Познако́мся, пожа́луйста, с мо́им дру́гом.

712 Он раба́тал под мо́им рукова́дством.

713 Мы пое́дем в Петро́дворе́ц с мо́им дяде́й.

714 За у́жином Ка́тя ве́село болта́ла с моёй до́черью.

715 Письмо́ бы́ло напи́сано моёй мла́дшей до́черью.

716 Вы знако́мы с на́шим журна́лом «Rúсская речь»?

717 Я хочу́ познако́мить вас с на́шей семье́й.

718 Вы интере́суетесь на́шей исто́рией?

719 Вы разгово́риваете с ва́шим но́вым сосе́дом?

720 Я уже́ знако́ма с ва́шей семье́й.

083 再帰所有代名詞 свой

721 Я забы́л свой а́дрес.

722 Мы ду́маем прове́сти свой о́тпуск в Приба́лтике.

723 Она́ жде́т свой идеа́л.

- 699 ほら、町で一番興味深いところですよ。
700 あなたにとってどの質問が一番おもしろかったですか。

081 形容詞の造格（単数）

- 701 どの列車で私たちは出発するのですか。
702 どんな種目のスポーツをあなたはやっているのですか。
703 いったいあなたはどんな役者だったのですか。
704 新年おめでとう。お幸せに。
705 ヴァチームは昨日アパートの新しい隣人と知り合った。
706 私は私の古い友人と会いたい。
707 私は電話で古い友人と話した。
708 ヴィクトルは自分の古い知り合いと映画に出かける。
709 湯加減はいかがでしたか。
710 みなさん、と彼はすばらしい声で言った。

082 所有代名詞の造格（単数）

- 711 どうぞ私の友人と知り合いになってよ。
712 彼は私の指導の元で働いていた。
713 私たちはわたしのおじとベトロドヴォレットツに行きます。
714 夕食の席でカーチャは楽しみに私の娘としゃべっていた。
715 その手紙は私の下の子によって書かれていた。
716 あなたは我が国の雑誌『ロシアのことば』をご存じですか。
717 私はあなたを私の家族に紹介したいのですが。
718 あなたは我が国の歴史に興味がありますか。
719 あなたはあなたの隣人とお話になっているのですか。
720 私はもうあなたの家族を知っています。

083 再帰所有代名詞 свой

- 721 私は自分の住所を忘れた。
722 私たちはバルト海沿岸で休暇を過ごすことを考えている。
723 彼女は自らの理想像を待っている。

- 724 – Скажите, Борис Антонович, можно жить чужим опытом?
– Нет, свой нужно иметь, свой!

725 У каждого свой журнал.

726 У каждого из нас свой Пушкин.

727 Олэг, тебе звонила какая-то девушка. Она оставила свой телефон.

728 У каждого члена семьи свой журнал и своя любимая газета.

729 У них есть свои принципы.

730 Я видел это своими глазами.

084 指示代名詞の造格（単数）

731 Наши родители собираются отдыхать этим летом на Волге.

732 Извините, вы тоже летите этим самолётом?

733 К кому ты обратился с этим вопросом?

734 Перед этим они долго спорили.

735 С этим невозможно согласиться!

736 Оле очень хочется ехать этим маршрутом, но одна она не поедет.

737 Какие события связаны с этой площадью?

085 定代名詞 весь, сам

738 Твоя жена весь день на кухне. Она любит готовить?

739 Это весь ваш багаж?

740 Когда муж пришёл с работы, молодая жена была вся в слезах.

741 Это вся наша семья.

742 Вся наша Земля – большой корабль в океане Космоса.

743 Здесь вся его семья. В центре сидит его отец. А рядом его мать.

744 Я сам буду вести концерт.

745 Он сам пишет песни.

746 Ты взрослый человек и сам должен всё решить.

- 724 ボリス・アントノヴィッチ、他人の経験によって生きることはできますか。
いや、自分の持たなければならない。自分のだ。
- 725 各人が自分の雑誌を持っている。
- 726 私たち一人一人が自分のプーシキンを持っている。
- 727 オレーグ、誰か女の子が君に電話してきたよ。彼女は自分の電話番号を言い残している。
- 728 家族のメンバーそれぞれが自分の雑誌と自分の愛読紙を持っている。
- 729 彼らには自分たちの原則がある。
- 730 私はそれを自分の目で見ました。
- 084 指示代名詞の造格（単数）
- 731 我が家の両親はこの夏にヴォルガ河畔で休暇をとる準備をしている。
- 732 すみません、あなたもこの飛行機で行くのですか。
- 733 君はその質問を誰にしたのか。
- 734 その前に彼らは長いこと議論していた。
- 735 そういったことには同意できない。
- 736 オーリャはそのルートでひどく行きたがっているが、彼女一人ではでかけない。
- 737 その広場にはどんな事件が関係しているのですか。
- 085 定代名詞 *весь, сам*
- 738 君の奥さんは一日中台所にいる。彼女は料理が好きなのかい。
- 739 これ全部があなたの荷物ですか。
- 740 夫が仕事から帰ってくると、若い妻は涙で一杯だった。
- 741 これが私たちの家族全員です。
- 742 私たちの地球全体、それは宇宙という海の中の大きな船です。
- 743 ここには彼の家族全員がいます。中央に座っているのが彼の父で、その横には母がいます。
- 744 私が自分でコンサートを開くことにします。
- 745 彼は自分で歌を書きます。
- 746 君は大人なんだから、自分ですべて決めなければならない。

- 747 Завтра я сам к ней пойду́.
- 748 Берите пирожки́, я сама́ пекла́.
- 749 Возьмите учебники, а сумку я сама́ понесу́.
- 750 Ты же сама́ э́того хоте́ла?
- 086 名詞の主格・生格・対格（複数）
- 751 Буду́ учи́ть но́вые слова́.
- 752 Как зову́т дете́й?
- 753 Вы берёте в похóд и дете́й?
- 754 Посмотри́ э́тот сбóрник стихóв.
- 755 Ско́ро у студéнтов сэссия.
- 756 Роль пра́здников в жи́зни челове́ка больша́я.
- 757 По́сле экза́менов мо́жно э́хать отды́хать.
- 758 В Москвё сейча́с идёт конгрéсс врачéй.
- 759 У дверéй кабинéтов сидят больны́е.
- 087 複数生格の例外
- 760 Рабо́чее вре́мя у студéнтов состо́ит из заня́тий и подгото́вки к ним.
- 761 Интере́сно, здесь пять фами́лий.
- 762 Вот кни́га о Петербу́рге. О́чень интере́сная. И фотогра́фий мно́го.
- 763 Я получи́л не́сколько пи́сем от друзéй.
- 764 Из её пи́сем я зна́ю, что вы о́чень помогли́ Петро́вым.
- 765 Кто даст пять копе́ек сда́чи?
- 766 Да́йте мне, пожа́луйста, одну́ ма́рку за 6 копе́ек.
- 767 На по́чте я написа́л пять откры́ток.
- 088 数詞と名詞の結合
- 768 У меня́ то́лько оди́н вопро́с.
- 769 На столе́ – одна́ тарéлка, ря́дом – два ножа́ и две ви́лки.
- 770 Здесь рабо́тать – одно́ удово́льствие.

- 747 明日私が自分で彼女のところに行きます。
 748 ピロシキをどうぞ、私が自分で焼きました。
 749 教科書をとってください。カバンは私が自分で持ちます。
 750 これは君が自分から望んだことだよ。
- 086 名詞の主格・生格・対格（複数）
 751 私は新しい単語を覚えるでしょう。
 752 子供たちは何という名前ですか。
 753 あなたは遠足に子供たちもつれていくのですか。
 754 その詩集を見てごらん。
 755 学生たちはもうすぐ定期試験です。
 756 人生における祝日の役割は大きい。
 757 試験の後は休暇に行ってもよらしい。
 758 今モスクワでは医者の方議が行われている。
 759 診療室のドアのところには病人たちが座っている。
- 087 複数生格の例外
 760 学生にとっての労働時間は、授業とその予習からなっている。
- 761 （プログラムを見て）おもしろい、ここには5つの名字がある。
 762 ほら、ペテルブルクについての本ですよ。とてもおもしろいし、写真もたくさんあります。
 763 私は友人から何通かの手紙を受け取った。
 764 彼女の手紙から私は、あなたがペトロフ一家をとて助けたことを知って
 765 誰が釣り銭5コペイカを出しますか。 います。
 766 6コペイカの切手を1枚ください。
 767 郵便局で5枚のはがきを書きました。
- 088 数詞と名詞の結合
 768 私には問題が1つだけあります。
 769 テーブルの上には1枚の皿、その横にナイフ2本とフォーク2本がある。
 770 ここで働くことは、ただひとつ、喜びに尽きる。

- 771 В классе одни девочки.
 772 У Андрея два брата – Саша и Боря.
 773 У моего соседа две собаки.
 774 Билет стоит пять копеек.
 775 Для работы в лаборатории нужно учиться шесть месяцев.
 776 В 12 часов обед.
- 089 形容詞の主格・生格・対格（複数）
 777 Имена каких русских писателей вы знаете?
 778 У него много ненужных вещей.
 779 В городе высокие дома, много новых школ.
 780 Таня кончила институт иностранных языков.
 781 В семье Морозовых очень любят спорт.
 782 Вы видите кварталы больших жилых домов?
 783 Москва – город широких проспектов, зелёных бульваров, красивых мостов.
 784 Утро в семье Рудиных началось, как всегда, в 6 часов.
 785 Новоселье – один из самых радостных праздников в семье.
 786 В киоске нет моих любимых журналов.
 787 В киоске нет твоих любимых сигарет. Я куплю «Новости».
 788 В зале несколько незнакомых человек.
 789 Гостиница очень маленькая и свободных мест нет.
 790 Он получает почту из разных мест страны.
- 090 所有代名詞の主格・生格・対格（複数）
 791 У моих родителей трое детей – моя сестра, я и мой брат.
 792 В киоске не было моих любимых журналов.
 793 Это выше моих сил!
 794 Когда сделают наши фотографии?
 795 До наших дней он остался русским врачом «номер один».
 796 Да, пора ехать. Поблагодарим наших хозяев.
 797 Давай послушаем твои новые записи.

- 771 クラスは女の子だけだ。
 772 アンドレイには2人の兄弟、サーシャとボーリヤがいる。
 773 私の隣人には2匹の犬がいる。
 774 切符は5コペイカです。
 775 試験所で仕事をするためには、6ヶ月間学ばなければならない。
 776 12時に昼食です。
- 089 形容詞の主格・生格・対格（複数）
 777 どんなロシア人作家の名前をご存じですか。
 778 彼はたくさんの不要品を持っている。
 779 町には高い建物とたくさんの新しい学校がある。
 780 ターニャは外国語大学を卒業した。
 781 モロゾフ一家はスポーツが大好きだ。
 782 大きな家々の住宅街が見えますか。
 783 モスクワは、広い大通り、緑の並木道、美しい橋の町です。
- 784 ルーゼン一家の朝は、いつも通り6時に始まった。
 785 新居祝い、それは家庭内の一番喜ばしい祝日の一つだ。
 786 売店には私のお気に入りの雑誌がない。
 787 売店には君の好きなたばこがない。私は『ノーヴォスチ』を買います。
 788 ホールには見知らぬ人が何人かいる。
 789 ホテルはとても小さく、空き部屋はない。
 790 彼は全国津々浦々から郵便をもらう。
- 090 所有代名詞の主格・生格・対格（複数）
 791 私の両親には3人の子供がいます。私の姉、私、そして弟です。
 792 売店には私のお気に入りの雑誌がなかった。
 793 それは私の手に余る。
 794 私たちの写真はいつ仕上がりますか。
 795 今日に至るまで彼は「ナンバー・ワン」のロシア人医師だ。
 796 そう、もう行く時間だ。我らがホスト夫妻に感謝します。
 797 君の新しい録音を聞こう。

- 798 Я прочитала ваши переводы.
 799 Когда у ваших родителей день рождения?
 800 Есть ли среди ваших друзей спортсмены?
- 091 指示代名詞の主格・生格・対格（複数）
 801 Сколько времени вы решали эти задачи?
 802 Что же вы хотите от этих людей!
 803 Нужно выбросить эти записи: они больше не нужны!
 804 За эти билеты нужно заплатить.
 805 Зачем покупать эти билеты за доллары?
 806 В эти дни я прихожу домой позже, часов в семь.
 807 Я курю эти сигареты.
 808 Я встретил этих девушек на выставке.
 809 Мы не читали этих журналов.
 810 Я в детстве тонула и с тех пор немножко боюсь воды.
- 092 数量生格
 811 Сколько сейчас градусов?
 812 Какие дома строят: сколько этажей, сколько квартир!
 813 Ой, сколько подарков!
 814 У Кати очень много вещей. Как она сядет в поезд?
 815 У Нины много друзей.
 816 В нашем городе много заводов.
 817 Мне нужно много денег.
 818 У меня много дел.
 819 В сумку положили несколько книг.
 820 В этом магазине несколько отделов.
- 093 数詞を使った表現（1）
 821 Сколько сейчас времени?
 822 Сколько времени вы живёте в Москве?
 823 Иван Иванович пойдёт на работу в 8 часов.

- 798 私はあなたの訳を読み終わりました。
 799 あなたの両親の誕生日はいつですか。
 800 あなたの友人の中に運動選手はいますか。
- 091 指示代名詞の主格・生格・対格（複数）
 801 どのぐらいの時間あなたはその問題を解いていたのですか。
 802 この人たちからあなたはいったい何を望んでいるのですか。
 803 そのメモを捨てなければならない。それはもう不要だ。
 804 その切符の代金を支払わなければならない。
 805 何でその切符をドルで買わなければならないのか。
 806 近頃私はもっと遅くなって、7時頃に帰宅する。
 807 私はこのたばこを吸っている。
 808 私は展覧会でその娘さんに出くわしたのだ。
 809 私たちはそれらの雑誌を読んだことがない。
 810 私は子供の頃におぼれたことがあって、それ以来ちょっと水が怖いのです。

092 数量生格

- 811 今何度ですか。
 812 どんな建物が建てられているんだろう。何階建てで、何部屋なんだろう。
 813 ああ、なんとたくさんのプレゼントだろう。
 814 カーチャはたくさんの物を持っている。どうやって列車に乗るのだろう。
 815 ニーナにはたくさんの友人がいる。
 816 私たちの町にはたくさんの工場がある。
 817 私にはたくさんのお金が必要だ。
 818 私にはたくさんの仕事がある。
 819 バッグには何冊かの本が入られた。
 820 この店にはいくつかの売場がある。

093 数詞を使った表現（1）

- 821 今何時ですか。
 822 あなたはモスクワにどのぐらい住んでいますか。
 823 イヴァン・イヴァノヴィチは8時に出勤します。

- 824 Мы идём в театр в 6 часóв.
 825 – Скóлько лет вáшему сы́ну?
 – Ему́ 21 год.
 826 Пóезд стоя́л на ста́нции три мину́ты.
 827 Де́сять лет наза́д Та́ня вы́шла за́муж.
 828 Два го́да наза́д я был в Со́чи.
 829 Че́рез 5 мину́т о́пять звоно́к.
 830 Я бы́ла там ра́за два-три.
 831 Он мно́го раз смотре́л таки́е фи́льмы.
 832 Я позвоню́ после́ девяти́.
- 094 数詞の変化
 833 В э́том ме́сяце в Пицу́нде не́ было ни одно́го дождя́.
 834 Но́мер на одно́го или на дво́их?
 835 Да́йте, пожа́луйста, две си́ние ма́рки и одну́ же́лтую.
 836 Он хоте́л сде́лать Ки́ев одни́м из са́мых краси́вых городóв в ми́ре.
 837 Ты рабо́таешь уже́ больше́ двух часóв.
 838 О́кна двух ко́мнат выхо́дят на юг.
 839 Как вы познако́мите двух ва́ших друзе́й?
 840 У меня́ оди́н костю́м к двум шля́пам.
 841 Дядя́ Ми́ша поста́вил краси́вую пала́тку с двумя́ о́кнами.
 842 Я учи́лся в двух шко́лах.

095 名詞の与格・造格・前置格（複数）

- 843 Э́кску́рсия по пу́шкинским ме́стам бы́ла о́чень интере́сной.
 844 Что вы говори́те друзья́м на Но́вый год?
 845 Он дал всем де́тям прекра́сное образова́ние.
 846 Шкату́лка де́лается худо́жниками Па́леха.
 847 В Сиби́ри о́чень ча́сто ря́дом с дома́ми начина́ется лес.
 848 Вы люби́те знако́миться с но́выми людьми́?
 849 На у́лицах мно́го люде́й, мно́го цвето́в.

- 824 私たちは6時に劇場に行きます。
 825 あなたの息子は何歳ですか。
 彼は21歳です。
 826 列車は駅に3分間停車した。
 827 10年前にターニャは嫁いだ。
 828 2年前に私はソチに行ってきた。
 829 5分後には再びベルになる。
 830 私はそこに2、3回行ったことがある。
 831 彼は何回もそのような映画を見たことがあった。
 832 9時過ぎに電話します。

094 数詞の変化

- 833 今月、ピツングでは雨がひとつも降らなかった。
 834 一人部屋ですか二人部屋ですか。
 835 青色の切手を2枚、黄色のを1枚ください。
 836 彼はキエフを世界中でもっとも美しい町の一つにしたかった。
 837 君はもう2時間以上働いているね。
 838 2つの部屋の窓は南に面していた。
 839 あなたは二人の友人をどうやって紹介するのですか。
 840 私は2つの帽子に合う背広を1着持っている。
 841 ミーシャおじさんは2つの窓のある美しいテントをたてた。
 842 私は2つの学校で学んだ。

095 名詞の与格・造格・前置格（複数）

- 843 プーシキンゆかりの土地の見学はとても興味深かった。
 844 新年にあたってあなたは友人に何と言いますか。
 845 彼はすべての子供たちに申し分のない教育を授けた。
 846 小箱はパレフの芸術家たちによって作られている。
 847 シベリアではしばしば家のすぐ脇から森が始まっている。
 848 新しい人たちと知り合いになることがお好きですか。
 849 通りにはたくさんの人、たくさんのお花だ。

- 850 В окнах был свет, значит, хозяева были дома.
 851 На стенах картины, фотографии.
 852 На крышах снег.
 853 Овощи продаются в специальных магазинах и на рынках.
 096 形容詞の与格・造格・前置格（複数）
 854 Мы любовались снежными вершинами, горными реками.
 855 Вы пугаете её тяжёлыми условиями работы?
 856 Она целыми часами может стоять у картин Рембрандта.
 857 В его возрасте не следует тратить время на разговоры с такими несерьёзными людьми.
 858 Она среднего роста, стройная, с голубыми глазами.
 859 Максим часто говорит с новыми соседями.
 860 Зелёная ёлка с яркими игрушками – старая традиция.
 861 У вас живёт молодая девушка с синими глазами?
 862 В каких музеях вы уже были?
 863 В каких европейских городах есть метро?

097 所有代名詞の与格・造格・前置格（複数）

- 864 Мы часто ходим с моими друзьями в Третьяковку.
 865 Завтра я иду в театр с моими французскими друзьями.
 866 Не знаю точно, я хочу поговорить об этом с моими друзьями.
 867 – Значит, помнят о твоих делах...
 – Не о моих делах, а обо мне.
 868 Привёт твоим родителям и Дзбону.
 869 Передайте привёт вашим родителям.
 870 Я забыл тебе рассказать о наших литературных «четвергах».

098 指示代名詞の与格・造格・前置格（複数）

- 871 Мне весело с этими людьми.

850 窓には明かりがあった。つまり、主人たちが家にいたということだ。

851 壁には絵や写真がある。

852 屋根の上には雪がある。

853 野菜は専門店や市場で売られている。

096 形容詞の与格・造格・前置格（複数）

854 私たちは雪に覆われた山頂や溪流にみとれた。

855 あなたはきつい労働条件で彼女を驚かしているのですか。

856 彼女は何時間もレンブラントの絵のところで立ってられる。

857 彼の年頃にはあんな不真面目な人たちとの会話で時間を無駄にすべきではない。

858 彼女は中背で、スタイルがよく、青い目をしている。

859 マキシムはしばしば新しい隣人と話をしている。

860 色鮮やかな玩具のついた緑のもみの木は、古くからの伝統だ。

861 お宅には青い目をした若い娘が住んでいますか。

862 どんな美術館にすでにいらっしまったことがありますか。

863 どんなヨーロッパの都市に地下鉄がありますか。

097 所有代名詞の与格・造格・前置格（複数）

864 私はしばしば友人たちとトレチャコフ美術館に行きます。

865 明日私はフランス人の友人と劇場に行きます。

866 正確には知らないのですが、それについて友人と話したいのです。

867 つまり、おまえの事件をみんなが覚えているんだな。

いや、俺の事件ではなく、俺さまのことをだ。

868 君のご両親とジョンによろしく。

869 あなたのご両親によろしくお伝えください。

870 私たちの「文学の木曜日」について君に話すのを忘れていたよ。

098 指示代名詞の与格・造格・前置格（複数）

871 私はあの人たちと一緒にいると楽しい。

872 Сколько домов построено этими руками!

873 В молодости я работал в этих местах.

874 В этих местах охота запрещена.

875 Вы часто дарите своим знакомым цветы?

876 Я должен позвонить своим знакомым врачам.

877 Я был там, своими глазами видел лес.

878 Василий Петрович говорит со своими детьми.

879 Он обещал рассказать о своих впечатлениях.

880 В своих книгах он рассказывал о людях двадцатых годов.

099 順序数詞

881 Ты первый раз её слушал?

882 В 9 часов вылетел первый самолёт.

883 У него первое место на конкурсе.

884 На экране появились первые кадры.

885 Потом я поднялась на второй этаж.

886 Вы не знаете, второй автобус идёт в центр?

887 У него есть братья. Их трое. Двое учатся, третий работает.

888 Урок двадцать третий.

889 Это четвёртый и пятый этажи.

890 Вот шестой этаж. Наша семья живёт здесь.

891 Збя, мы ждали тебя в метро у первого вагона.

100 数詞を使った表現（2）

892 Какое сегодня число?

893 Разве сегодня уже 20-е? А я думал, что только 19-е.

894 Я был пятнадцатого у врача, девятнадцатого в гостях.

895 В каком году это случилось?

896 В прошлом году она окончила медицинский институт.

897 В 1820 году Пушкин был выслан из Петербурга.

898 Третьяков в 1892 году подарил все картины городу Москвё.

899 Обычно я выхожу из дома двадцать минут девятого.

- 872 この手によって何件の家が建てられたことだろう！
873 若い頃私はそういった場所で働いていました。
874 そういった場所では狩猟禁止です。
875 よくあなたは知り合いに花をプレゼントしますか。
876 私は知り合いの医者に電話しなければならない。
877 私はそこに行ったことがあって、その森を自分の目で見ました。
878 ヴァシリー・ペトロヴィチは自分の子どもと話しています。
879 彼は自分の印象を語ることを約束した。
880 自著の中で彼は20年代の人々について語っていた。

099 順序数詞

- 881 彼女の話聞いたのは初めてかい。
882 最初の飛行機は9時に出発している。
883 彼はそのコンクールで1位をとった。
884 画面に最初の数コマが現れた。
885 それから私は2階に上がった。
886 2台目のバスが都心に行くか、ご存じありませんか。
887 彼には兄弟がいる。彼らは3人です。2人は学び、3人目は働いている。
888 第23課
889 それは4階と5階だ。
890 ほら、6階です。私たちの家族はここに住んでいます。
891 ゴーヤ、私たちは君を地下鉄の1両目のところで待っていたんだ。

100 数詞を使った表現(2)

- 892 今日は何日ですか。
893 今日はもう20日だって。ぼくはまだ19日だと思っていたよ。
894 15日に私は医者のところへ行き、19日にはお客に行きました。
895 それは何年に起こったのですか。
896 去年彼女は医科大学を卒業した。
897 1820年にプーシキンはペテルブルクから追放された。
898 1892年にトレチャコフはすべての絵画をモスクワ市に寄贈した。
899 ふつう私は8時20分に家を出る。

- 900 Тридцать минут двенадцатого он был уже на вокзале.
901 Уже почти половина двенадцатого. Вот, наконец, Вика.
902 После завтрака, в четверть восьмого, я одеваюсь, выхожу из дома.
903 Уже четверть первого, пора кончать урок и идти обедать.

101 不定副詞

- 904 Он эту книгу где-то купил.
905 Скажите, мы уже где-то встречались?
906 Какая-то девочка что-то говорит по-французски.
907 Я вас где-то видел.
908 Достаньте мне где-нибудь эту книгу хоть на один день.
909 Я когда-то хорошо плавала, а теперь не знаю.
910 Вы когда-нибудь покупали там билеты?
911 Дорога всё время идёт между горами. Ты когда-нибудь был в горах?
912 Поеду я куда-нибудь на Украину.
913 Вы куда-нибудь уезжали летом?
914 Я как-то не знал, с чего начать.
915 Мне как-то всё равно.

102 不定代名詞

- 916 Вам кто-то звонил.
917 Мне нужно с кем-то посоветоваться.
918 Он что-то забыл и вернулся.
919 На столе лежала какая-то книга.
920 Фильм был такой скучный, что где-кто просто ушёл.
921 Я тебе где-что принесла.
922 Мне нужно ещё где-что купить.
923 Мне кто-нибудь звонил?
924 Вы что-нибудь узнали об этом?
925 Вы хотите что-нибудь сказать?

- 900 11時半にはすでに彼は駅にいた。
901 もう11時半近くだ。ほら、とうとうヴィーカがあらわれた。
902 朝食の後、7時15分に私は服を着て家から出る。
- 903 もう12時15分だ。授業を終えて、昼食に行く時間だ。
- 101 不定副詞
904 彼はその本をどこかで買ってきた。
905 すみません、どこかでお目にかかっていますか。
906 どこかの少女が何かフランス語で話しています。
907 私はあなたをどこかで見たことがあります。
908 1日でもいいから、私にこの本をどこかで手に入れてきてください。
909 私はかつてはうまく泳げたものだったが、今はわからない。
910 あなたはいつだったかそこで切符を買ったことがありますか。
911 道がずっと山々の間に延びている。君はいつか山に行ったことがあるかい。
- 912 私はウクライナのどこかにでも行きます。
913 あなたは夏にどこかに行って来ましたか。
914 私には何から始めるべきかどうしても分からなかった。
915 ぼくにはどうでもいいことだ。
- 102 不定代名詞
916 あなたに誰かが電話をかけてきましたよ。
917 私は誰かと相談する必要がある。
918 彼は何か忘れ物をして戻ってきた。
919 机の上には何かの本があった。
920 その映画はとても退屈だったので、何人かの人はそのまま出ていった。
921 あんたにいいものを持ってきてあげたよ。
922 私はまだ何か買わなければならない。
923 私に電話した人がいますか。
924 あなたはそれについて知っていることがありますか。
925 あなたは何か言いたいことがあるのですか。

- 926 Купите мне, пожалуйста, какую-нибудь газету.
927 Ты знаешь какого-нибудь хорошего врача?
- 103 否定副詞
928 Нигде нет места для отдыха лучше, чем Пицунда.
929 Таких больших деревьев нигде не увидишь.
930 Обещаю: я больше никогда не буду опаздывать.
931 Её никогда нет дома.
932 Тanya и Андрей никак не справятся с этим делом.
933 Я никуда не хочу выходить.
934 Нам нeгде остановиться в Петербурге.
935 Ему нeгде жить.
936 Но Володе некогда было продолжать этот разговор.
937 Вообще-то мне некогда с тобой играть.
938 Нам некуда торопиться.
939 Нет, мне некуда всё это положить.
- 104 否定代名詞
940 Мне глупо туда ехать: никто там меня не ждёт.
941 На втором этаже никто не жил, там был ремонт.
942 Но никто не знает, какой он!
943 Опять никто не отвечает.
944 Сегодня никто не опоздал.
945 Не знаю, я ничего не понимаю в физике.
946 Спасибо, уже хорошо. У меня сейчас ничего не болит.
947 – Ты уже всё знаешь?
– Нет, я ещё ничего не знаю.
948 Мне здесь нечего больше делать.
949 Мне совсем не нравится. Да тут и слушать нечего.
- 105 関係代名詞 котóрый
950 Я вижу соседа, котóрый идёт в магазин.

- 926 何か新聞があったら私に買ってきてください。
927 あなたは誰か良い医者を知っていますか。
- 103 否定副詞
928 ピツンダより休暇に適した場所はどこにもない。
929 こんなに大きな木はどこにもお目にかかれない。
930 約束します。今後一切遅刻しません。
931 彼は一度も家にいたことがない。
932 ターニャとアンドレイはその件を絶対処理しきれない。
933 私はどこへも出ていきたくない。
934 私たちはペテルブルクではどこにも泊まる場所がない。
935 彼には住むべき場所がない。
936 だがヴァローチャには一刻たりとその会話を続ける暇はなかった。
937 そもそも君と遊んでいる暇はないんだよ。
938 私たちには急いでいくところはどこもない。
939 いや、ぼくにはそれら一切を置くような場所はどこにもない。
- 104 否定代名詞
940 そこへ行ったら私がおろかだ。そこでは誰も私を待っていないから。
941 2階には誰も住んでいなかった。そこは修理中だった。
942 だが、彼がどんな人間か誰も知らない。
943 またしても誰も答えない。
944 今日は誰も遅刻しなかった。
945 知りません。私は物理学が何も分かりません。
946 ありがとう、もうよくなりました。今はどこも痛みません。
947 君はもうみんな知っているのかい。
いいや、まだ何も知らないんだ。
948 わたしはもうここでは何もすべきことがない。
949 私は全く気にいらぬ。おまけに、そこで聞くべきものは何も無い。
- 105 関係代名詞 котóрый
950 私は店に行く隣人を見かける。

- 951 Слы́шен го́лос отца́, кото́рый про́сит Лёночку принести́ газéты.
952 Я ви́дела ме́дсестру́, кото́рая там рабо́тает.
953 К Лёночке, кото́рая стои́т у ёлки, подхо́дят её роди́тели.
954 Вы зна́ете Лари́су, кото́рая живёт в пя́той кварти́ре?
955 Где письмо́, кото́рое я вчера́ получи́л?
956 Здесь есть метрó, кото́рое соединя́ет райо́н с це́нтром.
957 Э́то ве́щи, кото́рые абсолю́тно не ну́жны.
958 Как зову́т му́жа и жену́, кото́рые живу́т в двена́дцатой кварти́ре?
959 Ве́ра, кото́рую вы ви́дите, и́дёт в магази́н.
960 Письмо́, кото́рого не́ было на столе́, бы́ло в кни́ге.
961 Опи́шите маршру́т, по кото́рому вы путеше́ствовали.
- 106 関係代名詞 кто と что
962 В Ростóв приезжа́ют те, кто лю́бит дрéвнюю ру́сскую архитекту́ру, кто интересу́ется исто́рией страны́.
963 Ка́ждый, кто приезжа́ет в Москвú, обяза́тельно приходи́т на Кра́сную пло́щадь.
964 Колоко́льчик де́тства в послед́ний раз звени́т для тех, кто окóнчил шкóлу.
965 Всё, что бывáет по́сле пе́рвого ша́га, всегда́ превыша́ет разме́ры пе́рвого ша́га. Но те, кто и́дёт шири́кой доро́гой, непременно́ по́мят о пе́рвом смельча́ке.
966 Са́мое гла́вное бы́ло то, что там была́ возмо́жность рабо́тать.
967 Я вхо́жу в магази́н и выбира́ю то, что мне ну́жно купи́ть.
968 Э́то как раз то, что ну́жно.
969 Мари́на за́рание купи́ла всё, что ну́жно для у́жина.
970 Прекра́сно! Мы взяли́ всё, что ну́жно.

951 レーノチカに新聞を持ってくるように言っている父の声が聞こえる。

952 私はそこで働いている看護婦に会った。

953 もみの木のそばに立っているレーノチカに彼女の両親が近寄ってくる。

954 あなたは5号室に住んでいるラリーサを知っていますか。

955 私が昨日受け取った手紙はどこですか。

956 ここにはその地域と都心を結ぶ地下鉄がある。

957 それは全く必要ないものだ。

958 12号室に住んでいる夫婦の名前はなんと言いますか。

959 あなたが見ているヴェーラは店に行くところです。

960 テーブルの上になかった手紙は本にはさまっていた。

961 あなたが旅行したルートを書いてみてください。

106 関係代名詞 **кто** と **что**

962 ロストフには、古代ロシア建築を愛する人、ロシア史に興味を持つ人が来ます。

963 モスクワに来る人は皆、必ず赤の広場に来ます。

964 子供時代の鐘が学校を卒業した子ども達のためにこれを最後に鳴る。

965 第一歩の後にあるものはすべて、常に第一歩の大きさを越えている。だが、広い道に行く者は、最初の勇敢な人のことを必ず覚えている。

966 一番重要なことは、そこに仕事の機会があった、ということだった。

967 私はその店に入り、買わねばならないものを選ぶ。

968 それはちょうど必要なものだ。

969 マリーナは夕食に必要なものを事前にすべて買った。

970 すばらしい。我々は必要なものすべてを手に入れた。

107 関係代名詞 **какой**

971 Он кладёт атлас, точно такой, какой купила Оля.

972 Это был один из тех домов, какие строили в послевоенные годы.

108 関係代名詞 **чей**

973 Преподавателям придётся иметь дело с ребятами, чьи интересы обознаны.

974 Эти письма написали ребята, чьи имена я здесь не назову.

975 Больше всего он страдал от своей обязанности собирать каждый день на работу людей, чьи отцы пропали на войне.

109 関係副詞

976 Им хочется навестить те места, где родился и провёл своё детство мой отец.

977 На каждом этаже есть кухни, где студенты могут готовить обед.

978 Вечером мы будем смотреть фильм, где она играла.

979 Они перешли в залы, где были картины художников XIX века.

980 Он вернулся в город, где жил и учился до войны.

981 Никола́й навсегда запомнил день, когда он стал строителем.

982 Они делают это тогда, когда хотят начать войну.

983 И вот настал день, когда мы отправились в путь.

984 Место, куда он приехал, было ему хорошо знакомо.

110 仮定法

985 Если бы ты заранее купил билеты, нам не нужно было бы торопиться.

986 Если бы не было дождя, праздник в парке состоялся бы.

987 Если бы ей помогли, она быстро выполнила бы это задание.

107 関係代名詞 какóй

971 彼はちょうどオーリヤが買ったと同じような地図帳を置く。

972 それは戦後の時期に建てられたような家の一つだった。

108 関係代名詞 чей

973 教師は興味関心が自覚されている子ども達と取り組まなければならないだろう。

974 これらの手紙は、ここでは名前を明かせない子ども達を書いたものだ。

975 彼は、父親を戦争で失った人々を毎日労役に狩り出すという自分の任務に何よりも苦しんでいた。

109 関係副詞

976 彼らは私の父が生まれ、子供時代を過ごした場所を訪れたがっている。

977 各階には台所があります。そこで学生たちは食事を作ることができます。

978 夕方私たちは彼女が出演した映画を見る予定です。

979 彼らは19世紀の画家の絵があった部屋に移動しました。

980 彼は戦前まで住み、学んだ町に戻ってきた。

981 ニコライは彼が建設労働者になった日を生涯覚えている。

982 彼らは戦争を始めたいときにそれをする。

983 かくして私たちの旅発った日がやって来た。

984 彼が到着した場所は、彼がよく知っている所だった。

110 仮定法

985 もし君が事前に切符を買っていたら、私たちは急ぐ必要がなかったのに。

986 もし雨が降らなかったら、公園でお祭りがあったのに。

987 もし彼女を手伝えれば、彼女はすぐにその課題を果たすのだが。

988 Ёсли бы в воскресёнье была плохая погода, мы не поехали бы за город.

989 Ёсли бы в выходной день была хорошая погода, я погулял бы в парке.

990 Мне хотёлось бы с кем-то поговорить по этому вопросу.

991 Ольга Ивановна, вы не могли бы позвонить нам завтра?

992 Я бы выпила немного сухого вина, вроде “Цинандали”.

993 Я не хочу, чтобы вы уходили.

994 Вáля, скажи ему, чтобы он позвонил мне сегодня.

995 Мáма хотела, чтобы я стал музыкантом.

111 普遍人称文

996 Тíше едешь, дáльше будешь.

997 Из пёсни слова не выкинешь.

998 Без труда не вынешь и рыбки из пруда.

999 Слезáми гóрю не помóжешь.

1000 Готóвь сáни лётom, а телéгу зимóй.

1001 Без беды дру́га не узнаёшь.

1002 Не изведав гóрького, не узнаёшь сладкого.

1003 На чужóй ротóк не накинёшь платóк.

1004 Шíла в мешкё не утайшь.

1005 Кáшу мáслом не испóртишь.

112 副動詞

1006 Не говоря ни слова, муж ушёл на работу.

1007 Нельзя читать лёжа!

1008 Кáтя придумает, – сказал Сергёй, улыбаясь.

1009 Подходя к до́му, он вспомнил, что он забыл зайти в магази́н.

1010 Ива́н Степа́нович шёл лёгко́, разговáривая с их гíдом.

1011 Возвращаясь до́мой, А́нна Миха́йловна думала о своих ученика́х.

988 もし日曜日に天気が悪ければ、私たちは郊外に出かけないのだが。

989 もし休日に天気が良ければ、私は公園を散歩したのだが。

990 その問題について誰かとお話したいのですが。

991 オリガ・イヴァノヴナさん、明日私たちにお電話いただけませんか。

992 「ツィナダーリ」のような辛口のワインを少し飲みたいものです。

993 私はあなたを帰したくない。

994 ヴァーリャ、彼に今日私に電話するように言っておくれ。

995 ママは私が音楽家になることを望んでいた。

111 普遍人称文

996 急がばまわれ。

997 良薬は口に苦し。

998 拱手握腕何事もなさず。

999 泣いてみたって何になる。

1000 先手必勝。

1001 苦しいときの友は真の友。

1002 苦いものを知らなければ甘いものも分からないものだ。

1003 人の口に戸は立てられないものだ。

1004 天網恢々疎にして漏らさず（悪事は必ず露見する）。

1005 いくらバターを入れてもカーシャはだめにならない（多いほど結構）。

112 副動詞

1006 夫は一言もしゃべらずに仕事に出かけた。

1007 寝ころんで読書してはいけない。

1008 カーチャがアイデアを出してくれるさ、とセルゲイは微笑ながら言った。

1009 家の近くなって、彼は店に寄るのを忘れたことを思い出した。

1010 イヴァン・ステパノヴィチは彼らのガイドと話しながら軽々と歩いた。

1011 アンナ・ミハイロヴナは帰宅の途中、自分の生徒のことを考えていた。

1012 Шурик、 обращаясь к Васе: – Вот это да!

1013 Вáся, стараясь сдержáть улыбку, разговáривает с ней.

1014 Онí прячутся за колóнной, стараясь быть незамéченными.

1015 Междугорóдная, – сказа́л Вáся, передавая́ мне тру́бку.

1016 Услы́шав шум, она́ просну́лась.

1017 Прочита́в газéту, Анто́н нача́л смотре́ть телеви́зор.

1018 Проводи́в всех домо́шних, Никола́й Ива́нович нача́л рабо́тать.

1019 Сде́лав котле́ты, Никола́й Ива́нович поше́л в свой кабинéт.

1020 Осмотрéв тот отде́л, онí перешли́ в друго́й зал.

113 形動詞

1021 Чело́век, покупа́ющий сига́реты, Анто́н.

1022 Вы зна́ете ма́льчика, игра́ющего во дворе́?

1023 Прочита́йте фразы́, выража́ющие вре́мя.

1024 Пра́здник «Бе́лые но́чи» – фести́вaль иску́ств, устраи́ваемый во вре́мя бе́лых но́чей.

1025 Чело́век, купи́вший сига́реты, Анто́н.

1026 Писа́тель, написа́вший э́ту кни́гу, живёт в Новосиби́рске.

1027 Вы ви́дите композито́ра, написа́вшего э́тот балéт.

1028 Ива́н Степа́нович продо́лжает прёрванный́ рассказ.

1029 Вади́м передал́ Ната́ше торт, привезённы́й из Ки́ева.

1030 Ки́нотеáтр, пострóенный на на́шей у́лице, назывáется «Кóсмос».

1031 Ни́на прочита́ла кни́гу, подáренную ей на день рожде́ния.

1032 Э́двард подарил́ женé кúпленную́ в Москвё́ матрёшку.

114 受け身の構文

1033 А сейча́с смотре́й, как укра́шен го́род.

1034 На да́льном се́вере пострóен го́род.

1035 Почему́ ваш друг расстрóен?

1036 Э́та шкóла пострóена́ молоды́м архите́ктором.

- 1012 シュリクはヴァーシャに向きながら言った。「そりゃそうだ！」
1013 ヴァーシャは一生懸命笑顔を保ちつつ、彼女と話しています。
1014 彼らは気づかれないようにしながら、柱の陰に隠れている。
1015 「市外通話だよ」ヴァーシャは私に受話器を渡しながら言った。
1016 彼女は騒ぎを聞いて目を覚ました。
1017 アントンは新聞を読み終えると、テレビを見始めた。
1018 家の者を全員送り出すと、ニコライ・イヴァノヴィチは仕事を始めた。

- 1019 ニコライ・イヴァノヴィチはカツレツを作ると、自分の書斎にいった。
1020 その売場を見回してから、彼らは別のホールに移っていった。

113 形動詞

- 1021 たばこを買っている人はアントンです。
1022 中庭で遊んでいる少年をご存じですか。
1023 時を表す表現を読んでください。
1024 「白夜」祭は、白夜の時に行われる芸術祭です。

- 1025 たばこを買った人はアントンです。
1026 この本を書いた作家は、ノヴォシビルスクに住んでいます。
1027 あなたはそのバレーを書いた作曲家を目の当たりにしているのですよ。
1028 イヴァン・ステパノヴィチは中断されていたお話を続けた。
1029 ヴァジムはキエフから運ばれてきたケーキをナターシャに渡した。
1030 私たちの通りに建てられた映画館は、「コスモス」と呼ばれています。

- 1031 ニーナは、誕生日に彼女に贈られた本を読み終えました。
1032 エドヴァルドは、モスクワで買ったマトリョーシカを妻に贈った。

114 受け身の構文

- 1033 今は、町がどんなに飾られているかを見ろよ。
1034 遠い北国に町が建設された。
1035 なぜ君の友人は気落ちしているんだ。
1036 その学校は若い建築家によって建てられた。

- 1037 МГУ был открыт 27 апреля 1755 года.
1038 С часу до двух магазин закрыт на обеденный перерыв.
1039 Словарь был взят из библиотеки.
1040 Когда и как обсуждается его результат?
1041 Факт действия не рассматривается как конкретный процесс.
1042 Запрещённое действие выражается словами: «нельзя, запрещается»
1043 Почему озеро называется Байкал?
1044 В стране создавались школы и библиотеки.
1045 Около нашего дома построили новый универмаг.
1046 Вы не знаете, где продают русские сувениры?
1047 На какой срок выдают книги в библиотеке?
1048 Неделю назад по телевизору передавали футбол.

- 1037 モスクワ大学は 1755 年 4 月 27 日に開設された。
 1038 1 時から 2 時まで店は昼休みで閉まっています。
 1039 辞書は図書館から借りてきた。
 1040 その結果はいつ、どのように審議されるのですか。
 1041 運動の事実は具体的なプロセスとしては観察されない。

- 1042 禁止されている動作は「нельзя, запрещается」ということばによつて表現される。
 1043 なぜ湖は「バイカル」と名付けられているのですか。
 1044 国内では学校や図書館が設立されていた。
 1045 我が家の近くに新しいデパートが建てられた。
 1046 ロシア土産はどこで売っているかご存じですか。
 1047 図書館ではどのぐらいの期間、本を貸し出しますか。
 1048 一週間前にテレビでサッカーが放映されていた。

執筆者		
相馬 守胤		札幌大学外国語学部教授
匹田 軍次		札幌大学外国語学部教授
金子 利喜男		札幌大学外国語学部教授
ジダーノフ V.N.		札幌大学外国語学部教授
鈴木 淳一		札幌大学外国語学部教授
山田 隆		札幌大学外国語学部助教授
大矢 温		札幌大学外国語学部助教授
スヴォルキナ E.G.		札幌大学外国語学部招聘教授
山田 吉二郎		北海道大学言語文化部助教授
ヴラーソフ T.V.		北海道大学言語文化部外国人教師
執筆協力者		
ジダーノフ N.I.		札幌大学外国語学部非常勤講師
イラスト		
大矢 りか		陶芸家

基礎ロシア語コース

文法編

練習問題編

会話編

例文集（別冊付録）

1992 年 4 月 10 日 初版発行
 1999 年 4 月 1 日 第 2 版発行

編著者 Copyright (c) 札幌大学・北海道大学教科書編集委員会
 発行所 教科書刊行会
 札幌市豊平区西岡 3 条 7 丁目 3 の 1
 電話 (011)852-1181
 印刷所 (株) エス・アンド・エス

ホームページ <http://www.sapporo-u.ac.jp> (学部学科案内の外国語学部)